

日田市
学校施設長寿命化計画

令和2年（2020年）2月
令和8年（2026年）3月改訂

日田市教育委員会

目 次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
①背景.....	1
②目的.....	1
③計画期間.....	2
④対象施設.....	2
第2章 学校施設の目指す姿	5
第3章 学校施設の実態	7
①学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	7
1) 対象施設一覧.....	7
2) 児童・生徒数及び学級数の変化.....	8
3) 学校施設の配置状況.....	12
4) 施設関連経費の推移.....	14
5) 学校施設の保有量.....	16
6) 今後の維持・更新コスト（従来型）.....	17
7) 学校施設の活用状況.....	18
②学校施設の老朽化状況の実態.....	19
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価.....	19
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）.....	29
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	31
①学校施設の規模・配置計画等の方針.....	31
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針.....	31
2) 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	33
②改修等の基本的な方針.....	33
1) 長寿命化の方針.....	33
2) 目標使用年数、改修周期の設定.....	34
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	36
①改修等の整備水準.....	36
②維持管理の項目・手法等.....	37

第6章 長寿命化の実施計画	38
①改修等の優先順位付けと実施計画.....	38
1) 長寿命化改修等の優先順位.....	38
2) 今後5年間の予算配分.....	40
②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～.....	41
1) 長寿命化の効果.....	41
2) 長寿命化計画によるコストの見通し.....	41
3) 維持・更新の課題と今後の方針.....	41
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	42
①情報基盤の整備と活用.....	42
②推進体制等の整備.....	42
③フォローアップ.....	43

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

①背景

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されましたが、それらの施設が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活をする場として学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心なものである必要があります。

また、地域住民にとっては各種行事等を通じて交流が行われる身近な公共施設であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

日田市（以下、「本市」と言います。）は、令和7年現在、学校施設として27施設（総延床面積122,815㎡）を有しており、延床面積で見ると、全ての市所有公共施設の26%を占めています。

昭和40年代から50年代に建築された施設も多数あり、築30年を経過した施設が約半数あることから、今後、約20年の間に多くの小中学校で耐用年数が到来することが見込まれます。

また、本市においても人口の減少が予測されており、少子高齢化の進展による人口構造の変化により、本市の財政面でも厳しい状況になります。

②目的

現在、本市では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として「日田市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」と言います。）を平成29年3月に策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用できるよう、また、適正な規模や配置等により、市民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

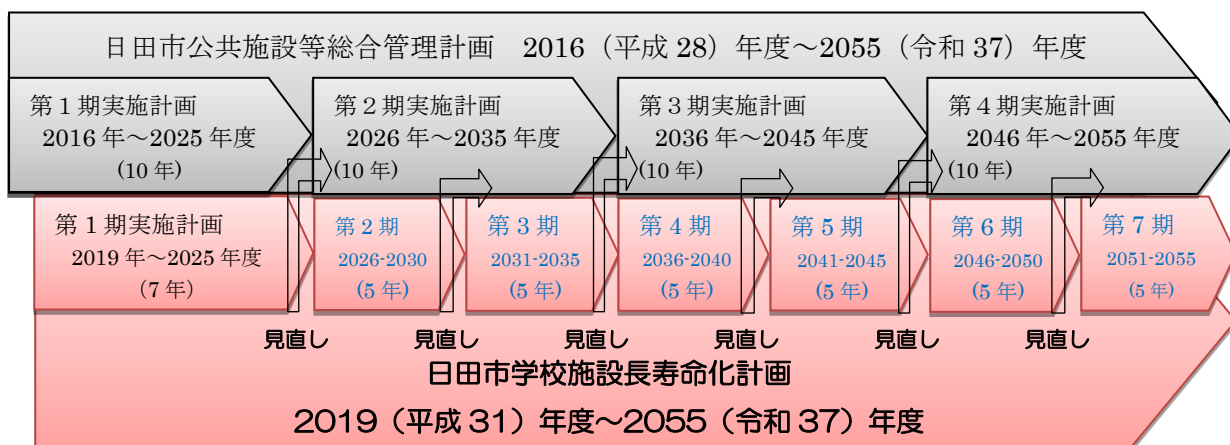
本計画は、この総合管理計画に基づき、学校施設に関する個別施設計画として、学校施設を対象に現地調査等を踏まえて現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度等を勘案しつつ、今後の維持保全の方向性を検討し、外壁、屋根、防水などの部位別や学校別の優先順位を考え、整備内容、時期、費用等の具体的な計画（以下「長寿命化計画」と言います。）を策定することを目的とします。

本計画に基づき、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況においても計画的に保全を実施することで、長く安心安全な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

③計画期間

2019年（平成31年）～2055年（令和37年） 5年ごとに見直し ※第1期のみ7年

本計画は、総合管理計画における個別施設計画として位置づけられることから、総合管理計画に位置付けられた計画期間に基づき 2055 年を計画の目標年とします。実施については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、P D C A サイクルによる実行システムを構築した上で、総合管理計画との整合を図るため第 1 期実施計画のみ 7 年とし、第 2 期実施計画以降は、計画を 5 年ごとに見直すものとし、本計画は 2026 年度から 2030 年度までの第 2 期計画にあたります。



図：本計画の計画期間と見直しのサイクルイメージ

④対象施設

本計画の対象施設は、学校施設として保有している 27 校とします。

表：本計画の対象施設

学校施設	
小学校	18 校 (小中一貫校：3 校を含む)
中学校	9 校
合計	27 校

また、本計画における長寿命化計画の対象建物は、学校施設のうち、長寿命化事業によるコスト低減効果の薄い小規模の建物を除く 78 棟を対象とします。

対象建物の延床面積合計は、117,972 m²であり、本市の学校施設全体の延床面積合計の 96%に当たります。

具体的な対象建物は、3 ページ以降に示す対象建物一覧に示す建物です。

表：対象建物一覧（小学校）※小中一貫校を含む

RC:鉄筋コンクリート造、W:木造、S:鉄骨造

施設名		所在地	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	
1	1	咸宜小学校	淡窓1丁目5-13	管理教室棟	RC	4	4,449
2				普通教室棟	W	2	1,485
3				屋内運動場	RC	2	849
4	2	桂林小学校	上城内町2-35	管理教室棟	RC	3	2,156
5				普通教室棟	RC	3	1,456
6				屋内運動場	S	1	696
7	3	日隈小学校	日ノ隈町578-1	管理教室棟	RC	3	3,464
8				屋内運動場	RC	1	850
9	4	若宮小学校	若宮町2-15	管理教室棟	RC	2	1,351
10				教室棟	RC	3	1,770
11				屋内運動場	RC	1	680
12	5	三芳小学校	下井手町940	管理教室棟	RC	3	2,018
13				教室棟	W	2	1,541
14				屋内運動場	RC	2	727
15	6	高瀬小学校	誠和町781-2	管理教室棟	RC	2	668
16				普通教室棟	RC	3	1,847
17				特別教室棟	RC	2	618
18				屋内運動場	W	2	645
19	7	光岡小学校	北友田1丁目1133-2	管理教室棟	RC	3	2,284
20				普通教室棟	RC	4	2,982
21				屋内運動場	S	1	722
22	8	朝日小学校	朝日町936-1	管理教室棟	RC	3	1,916
23				特別教室棟	RC	2	395
24				屋内運動場	S	1	680
25	9	三和小学校	清水町1187	管理教室棟	RC	3	1,903
26				普通教室棟	RC	2	1,079
27				屋内運動場	S	1	680
28	10	有田小学校	諸留町2687-1	管理教室棟	RC	3	1,777
29				普通教室棟	RC	1	356
30				特別教室棟	RC	2	431
31				屋内運動場	RC	2	632
32	11	小野小学校	鈴連町1658-1	管理教室棟	W	2	1,801
33				屋内運動場	RC	1	680
34	12	大明小中学校	大肥本町1701	小学校棟・中学校棟・ 特別教室棟	W	3	3,766
35				屋内運動場	RC	2	1,305
36				武道場	S	2	389
37	13	石井小学校	石井町2丁目478	管理教室棟	RC	3	1,032
38				教室棟	RC	4	1,876
39				屋内運動場	S	1	518
40	14	前津江小学校	前津江町大野2562	管理教室棟	RC	2	1,810
41				屋内運動場	RC	2	1,291
42	15	津江小中学校	中津江村栃野4341	管理教室棟	RC	2	1,494
43				教室棟	RC	3	2,073
44				屋内運動場	RC	1	670
45				武道場	S	1	258
46	16	大山小中学校	大山町西大山4267	管理教室棟	RC	3	4,019
47				屋内運動場	RC	2	1,449
48	17	東溪小学校	天瀬町馬原4011-1	管理教室棟	RC	3	1,959
49				屋内運動場	S	1	771
50	18	いつま小学校	天瀬町五馬市2040	管理教室棟	RC	2	1,744
51				屋内運動場	S	1	700

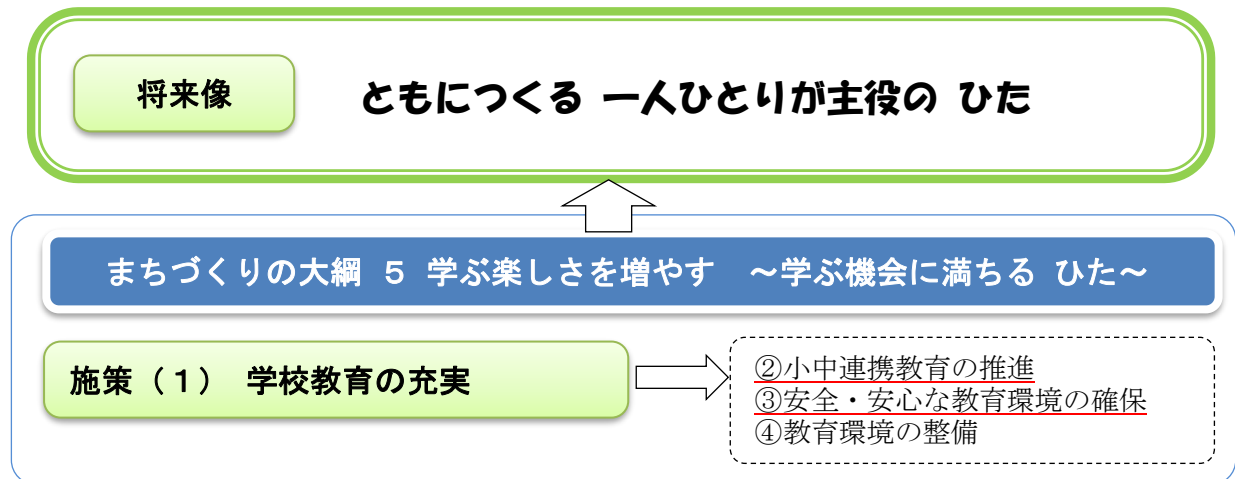
表：対象建物一覧（中学校）

RC:鉄筋コンクリート造、W:木造、S:鉄骨造

施設名		所在地	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	
52	19	東部中学校	田島2丁目12-8	管理教室棟	RC	4	3,065
53				特別教室棟	RC	3	2,092
54				家庭科室	W	1	100
55				屋内運動場	RC	1	1,422
56				武道場	S	1	350
57	20	三隈中学校	亀川町402-1	管理教室棟	S	4	6,486
58				屋内運動場	RC	2	1,832
59				武道場	S	1	376
60	21	南部中学校	銭渕町288	管理教室棟	RC	3	1,689
61				管理・普通教室棟	RC	3	2,005
62				屋内運動場	S	2	1,379
63				武道場	S	2	361
64	22	北部中学校	上手町148-1	管理教室棟	RC	3	1,318
65				教室棟	RC	3	2,560
66				屋内運動場	RC	2	1,858
67	23	戸山中学校	藤山町213-1	管理教室棟	RC	3	1,902
68				特別教室棟	RC	3	514
69				屋内運動場	RC	2	1,977
70	24	東有田中学校	諸留町488-2	管理教室棟	W	2	2,603
71				屋内運動場	RC	2	1,565
72	25	前津江中学校	前津江町大野2214	管理教室棟・特別教室棟	RC	2	1,943
73				特別教室棟	W	1	331
74				屋内運動場	RC	2	680
75	26	東溪中学校	天瀬町馬原2276	管理教室棟	RC	3	2,501
76				屋内運動場	S	1	1,200
77	27	五馬中学校	天瀬町塚田169	管理教室棟	W	2	2,311
78				屋内運動場	S	1	840
合 計						117,972	

第2章 学校施設の目指す姿

平成 29 年 6 月に策定された第 6 次日田市総合計画では、本市の将来像を『ともにつくる 一人ひとりが主役の ひた』と定め、「まちづくりの大綱」の中でも、地域の特色ある学校教育をすすめるとともに、学ぶ楽しさを増やし、次代を担う子どもを育て、～学ぶ機会に満ちる ひた～を実現していこうとしています。



また、日田市教育大綱（令和 8 年）の中では、「学校を安全で、安心な場所に」を基本方針の一つに掲げ、学校施設の安全安心な維持管理を目標にしています。

本計画は、第 6 次日田市総合計画及び総合管理計画に基づき、『日田市教育大綱』に掲げる方針の実現に向けて、本市の教育が目指す方向性を踏まえた学校施設整備の在り方について定めます。

前述の本市の教育が目指す方針を前提とし、総合管理計画における、本市の公共施設の在り方についての内容を踏まえつつ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 平成 25 年 3 月）を参考として、本市における学校施設の目指す姿を以下のように設定します。

1. 学習活動への適応性を確保する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・学校施設は、基礎的・基本的な学力の定着を図る子どもたちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えます。
- ・地球温暖化等の環境問題に対応するため、環境を考慮した学校施設であるエコスクール化を推進することや、教育内容・方法等の変化、教育の情報化、バリアフリー化等の様々な社会的要請に適切に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

2. 安全性・快適性を備えた施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・学校は、児童・生徒にとって「学びの場」であるとともに1日の約3分の1を過ごす「生活の場」であることから、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設環境を整えます。
- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境を備えるとともに、児童・生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校施設を目指します。
- ・学校施設は、日頃、学校を訪れない保護者や子どもたちが、相談や学校行事の際に訪れやすい空間として、また、教職員の職務や活動に配慮した空間・環境を整えます。

3. 地域と連携した活動の利用施設としての整備（地域との連携の充実）

- ・令和2年度に市内全小中学校が[※]コミュニティ・スクールとなり、今後、学校教育活動への地域人材の活用や地域の行事等との連携がより一層推進されること、災害時における避難所としての利用等、地域防災においても学校施設が重要な役割を果たすことを踏まえ、より地域に身近で、利用しやすい施設としての整備を進めていきます。

※コミュニティ・スクール：地域や保護者の方々が学校運営に参画する「学校運営協議会」を置く学校のこと。

第3章 学校施設の実態

①学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

各学校施設の保有教室の種類・用途は、以下のとおりです。

なお、児童生徒数の減少により余裕教室となった教室については、少人数教室などの学びの多様化に対応したスペースや放課後児童クラブとして活用しており、現時点では未活用余裕教室はない状況です。

表：対象施設の学級数・設置年度

施設名	児童・生徒数		学級数		児童・生徒数（通常内訳）						設置年度	
	通常	特別支援	通常	特別支援	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	元号	年度
1 咸宜小学校	458	15	18	3	64	63	84	95	76	76	M	7
2 桂林小学校	214	8	10	2	37	43	38	32	39	25	S	54
3 日隈小学校	221	15	11	3	37	42	41	36	41	24	S	27
4 若宮小学校	106	11	6	2	15	18	23	15	15	20	S	27
5 三芳小学校	253	6	12	2	36	41	42	47	46	41	M	9
6 高瀬小学校	170	11	7	2	27	23	31	20	28	41	M	9
7 光岡小学校	451	13	16	3	76	74	68	68	80	85	M	7
8 朝日小学校	75	10	6	2	10	15	10	12	16	12	M	10
9 三和小学校	228	13	9	2	34	46	42	33	40	33	M	7
10 有田小学校	178	10	6	2	21	33	29	34	28	33	S	50
11 小野小学校	18	0	5	0	0	2	5	4	3	4	H	5
12 大明小学校	54	0	6	0	9	9	9	12	9	6	H	23
13 石井小学校	92	2	6	1	14	12	15	13	19	19	M	7
14 前津江小学校	20	0	4	0	2	7	0	9	0	2	H	24
15 津江小学校	20	1	4	1	2	0	3	1	4	10	H	24
16 大山小学校	71	9	6	2	12	9	11	14	15	10	H	25
17 東溪小学校	50	3	6	1	8	13	5	10	6	8	H	24
18 いつま小学校	20	0	6	0	1	5	2	3	6	3	H	24
19 東部中学校	495	17	15	3	166	148	181	—	—	—	S	22
20 三隈中学校	486	22	16	3	161	153	172	—	—	—	S	35
21 南部中学校	135	6	5	2	37	47	51	—	—	—	S	22
22 北部中学校	253	12	9	2	86	77	90	—	—	—	S	22
23 戸山中学校	40	1	3	1	8	12	20	—	—	—	S	33
24 東有田中学校	11	1	3	1	2	6	3	—	—	—	S	22
25 大明中学校	41	0	3	0	10	18	13	—	—	—	S	44
26 前津江中学校	9	0	3	0	5	1	3	—	—	—	S	22
27 津江中学校	20	0	3	0	5	6	9	—	—	—	S	54
28 大山中学校	57	0	3	0	16	21	20	—	—	—	S	22
29 東溪中学校	28	0	3	0	8	11	9	—	—	—	S	22
30 五馬中学校	11	0	3	0	4	3	4	—	—	—	S	22

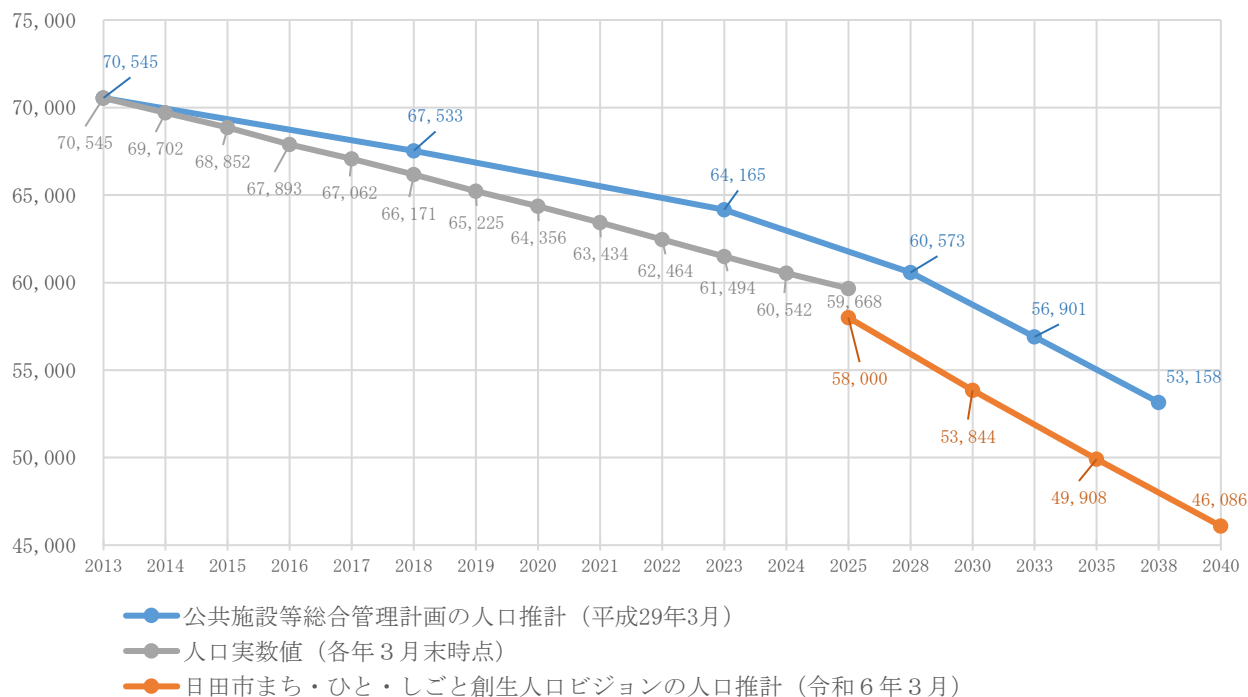
資料：学校施設台帳（令和7年5月1日時点）

2) 児童・生徒数及び学級数の変化

(1) 本市の人口の見通し

本市における今後の人口推移は、大きく減少する傾向にあり、総合管理計画を策定した時点の人口推移を人口実数値が下回って推移しています。

さらに、「日田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の推計では、当初の人口推移よりも更に人口減少が進むと予測されています。



図：本市の将来人口推移(独自推計)

資料：庁内資料(日田市公共施設等総合管理計画 第2期実施計画)

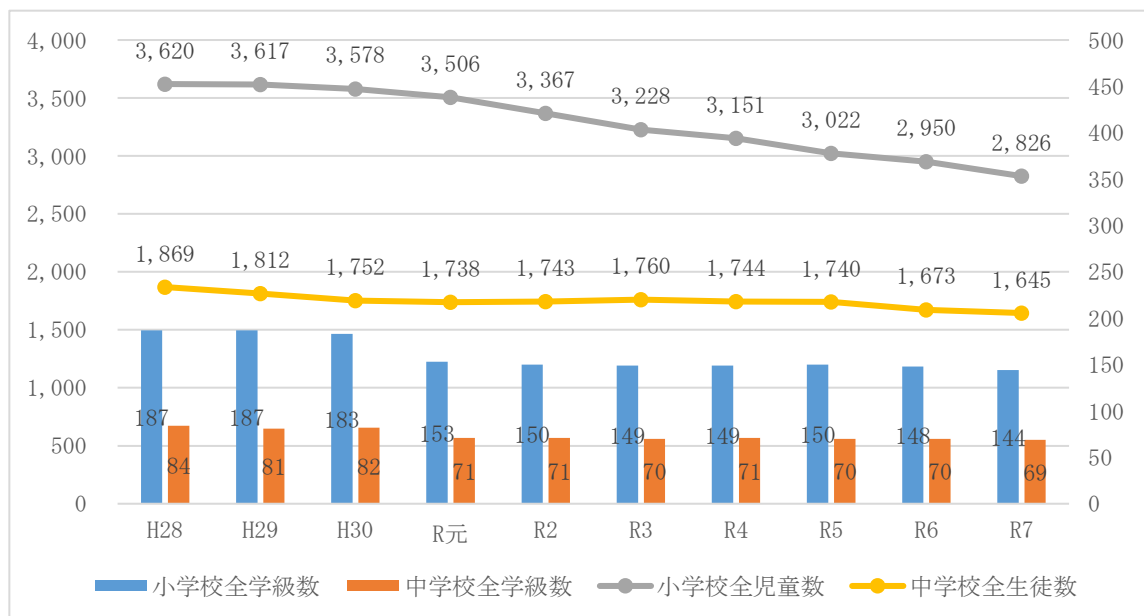
(2) 児童・生徒数の推移

本市の児童・生徒数は、徐々に減少しています。

小学校児童数は、平成 28 年から令和元年までは微減となっていました。令和 2 年度以降、大きく減少しており、令和 7 年は、2,826 人となっています。

中学校生徒数は、平成 28 年度から微減が続く、令和 7 年は、1,645 人となっています。

児童・生徒数は減少傾向にあるものの、特別支援学級の増加などにより学級数は、なだらかな減少傾向となっています。



図：児童・生徒数の推移

資料：庁内資料

学校別に児童・生徒数をみると、小学校では、光岡小学校や日隈小学校などで一時的に微増となった時期もありますが、直近の 10 年間で見た場合には、多くの小学校で児童数が減少傾向にあります。

中学校の生徒数は、三隈中学校で微増傾向がありますが、その他の学校は小学校と同様に、一時的に微増となった時期もあるものの、直近の 10 年間で見た場合には、多くの中学校で生徒数が減少傾向にあります。

表：小中学校別児童生徒数の推移

児童数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
咸宜小学校	558	557	559	547	546	517	519	517	504	473
桂林小学校	325	331	310	309	269	246	232	223	223	222
日隈小学校	231	248	268	254	245	251	248	245	233	236
若宮小学校	166	158	155	141	139	130	138	130	129	117
三芳小学校	353	350	338	337	306	293	282	271	272	259
高瀬小学校	201	199	198	192	202	197	193	189	184	181
光岡小学校	518	542	527	531	550	542	535	494	478	464
朝日小学校	135	125	127	120	115	105	96	93	92	85
三和小学校	281	271	282	291	277	271	260	260	255	241
有田小学校	224	227	219	222	222	199	195	187	192	188
小野小学校	34	33	28	29	30	24	26	22	22	18
大明小学校	109	106	108	103	83	74	74	65	55	54
石井小学校	132	118	116	113	100	101	103	102	99	94
前津江小学校	30	26	27	27	27	24	30	26	27	20
津江小学校	55	60	52	49	44	42	37	31	27	21
大山小学校	127	120	120	116	98	101	92	89	81	80
東溪小学校	83	87	95	83	77	73	56	54	53	53
いつま小学校	58	59	49	42	37	38	35	24	24	20

生徒数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
東部中学校	538	518	509	514	530	535	528	530	507	512
三隈中学校	485	494	475	514	504	513	510	528	507	508
南部中学校	178	179	175	159	153	143	133	138	147	141
北部中学校	285	270	284	261	260	258	279	283	268	265
戸山中学校	64	64	56	50	49	65	64	61	49	41
東有田中学校	41	35	27	28	22	27	25	20	19	12
大明中学校	45	46	44	48	51	57	51	46	41	41
前津江中学校	20	17	14	17	11	13	9	11	7	9
津江中学校	29	33	30	25	31	29	29	26	22	20
大山中学校	72	69	65	60	64	60	60	54	58	57
東溪中学校	68	57	41	36	40	41	37	30	34	28
五馬中学校	44	30	32	25	28	19	19	13	14	11

資料：庁内資料

(3) 児童・生徒数の見通し

本市における近年の児童・生徒数の推移から、本計画の計画期間における推計を変化率法により試算した場合、目標年次である2055年の児童・生徒数は2,501人と試算され、これは、現在の約56%となります。

また、学級数について過去10年間の学級あたり児童・生徒数の平均から試算すると、目標年次である2055年の学級数は117学級と試算され、現在より96学級少なくなっています。

表1：児童・生徒数、学級数の推移と将来推計

〈児童生徒数〉												(人)	
	これまでの推移										将来推計		
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R01 2019	R02 2020	R03 2021	R04 2022	R05 2023	R06 2024	R07 2025	2035	2055	
児童数	3,620	3,617	3,578	3,506	3,367	3,228	3,151	3,022	2,950	2,826	2,609	1,701	
生徒数	1,869	1,812	1,752	1,738	1,743	1,760	1,744	1,740	1,673	1,645	1,243	800	
合計	5,489	5,429	5,330	5,244	5,110	4,988	4,895	4,762	4,623	4,471	3,852	2,501	

〈学級数〉												(学級)	
	これまでの推移										将来推計		
	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R01 2019	R02 2020	R03 2021	R04 2022	R05 2023	R06 2024	R07 2025	2035	2055	
小学校	187 (29)	187 (29)	183 (27)	153 (27)	150 (25)	149 (26)	149 (26)	150 (27)	148 (27)	144 (28)	127 (23)	83 (15)	
中学校	84 (13)	81 (12)	82 (11)	71 (11)	71 (13)	70 (14)	71 (13)	70 (10)	70 (12)	69 (12)	53 (9)	34 (6)	
合計	271 (42)	268 (41)	265 (38)	224 (38)	221 (38)	219 (40)	220 (39)	220 (37)	218 (39)	213 (40)	180 (32)	117 (21)	

表2：将来の年少推計人口

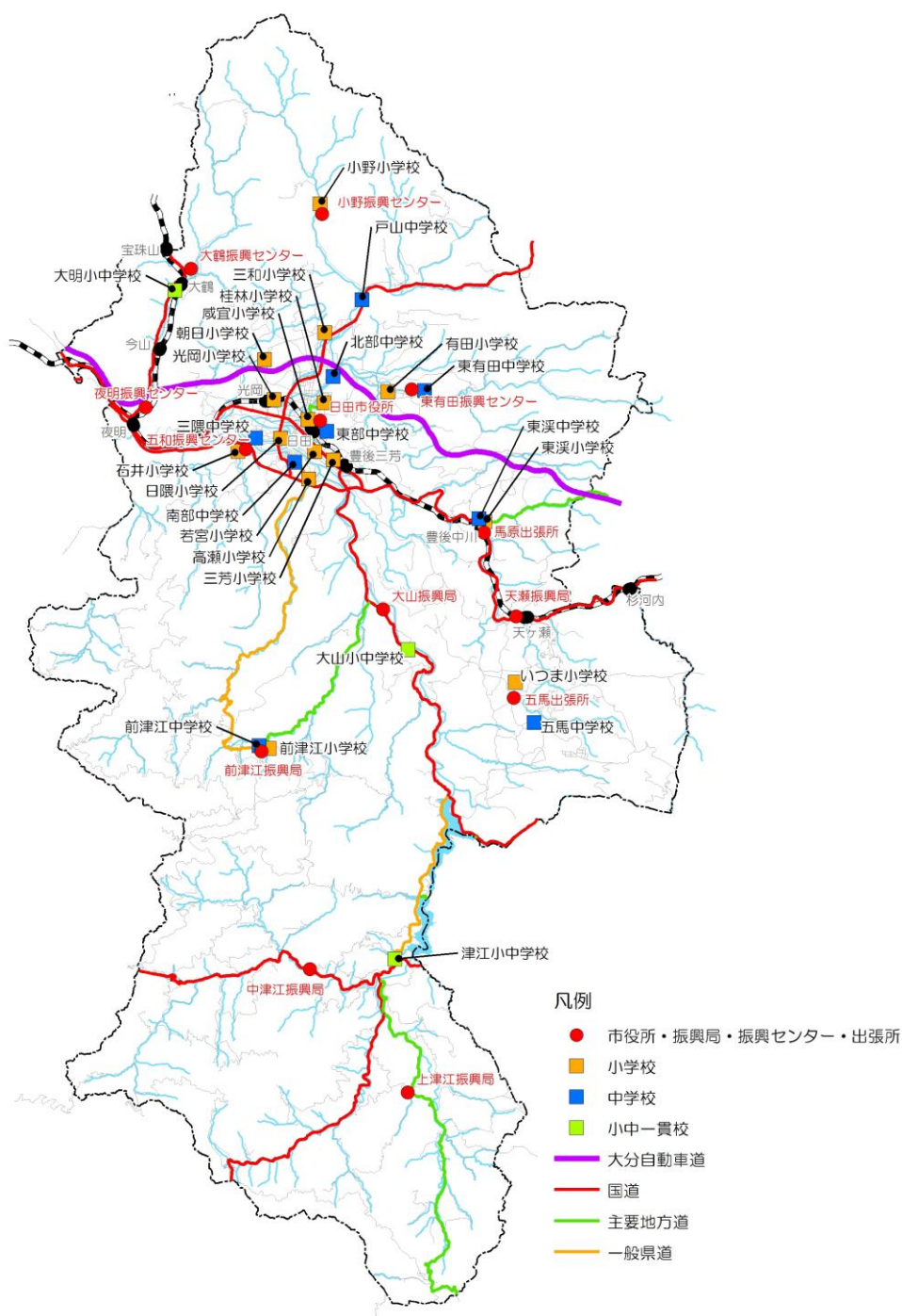
男女計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
5～9歳	2,590	2,278	1,784	1,610	1,506	1,434	1,344
10～14歳	2,952	2,545	2,235	1,753	1,582	1,480	1,411

資料：国立社会保障・人口問題研究所の人口推計

3) 学校施設の配置状況

本市の長寿命化計画対象施設は、JR久大本線日田駅を中心とした市街地に集中して配置され、旧町村にも配置しています。

このうち、日田地区の大明小中学校、大山地区の大山小中学校、中津江・上津江地区の津江小中学校は、小中一貫校です。



図：学校施設の配置

資料：国土交通省 国土数値情報
(基準年：平成 26 年 8 月)

(2) 学校施設の災害リスク

長寿命化計画対象施設と浸水想定区域（河川氾濫）や土砂災害警戒区域指定地の関係を見ると、災害リスクのある学校施設がみられます。

三隈川、玖珠川、花月川、有田川の氾濫による浸水想定区域は、JR久大本線日田駅を中心とした中心市街地から国道386号、国道212号、国道210号沿道の市街地部にひろがっており、小学校9校（小中一貫校が1校）、中学校5校が浸水想定区域内にあります。

また、土砂災害警戒区域内にある学校施設が小学校5校（小中一貫校が2校）、中学校3校となっています。

表：学校施設の災害リスク

施設名	災害リスク	
	浸水想定区域（浸水深）	土砂災害警戒区域
1 威宜小学校	0.5m未満	
2 桂林小学校		
3 日隈小学校	0.5m～3m	
4 若宮小学校	0.5m～3m	
5 三芳小学校	0.5m～3m	
6 高瀬小学校		指定区域に近接
7 光岡小学校	0.5m～3m	指定区域内
8 朝日小学校		
9 三和小学校		
10 有田小学校	0.5m～3m	
11 小野小学校		指定区域内
12 大明小中学校		指定区域内
13 石井小学校	0.5m～3m	
14 前津江小学校		指定区域内
15 津江小中学校		
16 大山小中学校	3m～5m	指定区域内
17 東溪小学校	10m～20m	
18 いつま小学校		
19 東部中学校		
20 三隈中学校	5m～10m	
21 南部中学校		
22 北部中学校	0.5m～3m	
23 戸山中学校	0.5m～3m	指定区域内
24 東有田中学校	0.5m～3m	指定区域内
25 前津江中学校		指定区域内
26 東溪中学校	10m～20m	
27 五馬中学校		

4) 施設関連経費の推移

本市の学校施設に係るコスト状況について、過去5年間の施設整備費、運営費等（維持管理費、光熱水費等）を整理します。

施設整備関連経費は、校舎の長寿命化改修が行われた令和2年度から令和5年度にかけての年平均は約2.9億円となっており、令和6年度に関しては校舎の長寿命化改修がなかったため、減少しています。

維持管理費は、約1.9千万円、光熱水費・委託費は約1.6億円で推移しています。

表：施設関連経費の推移

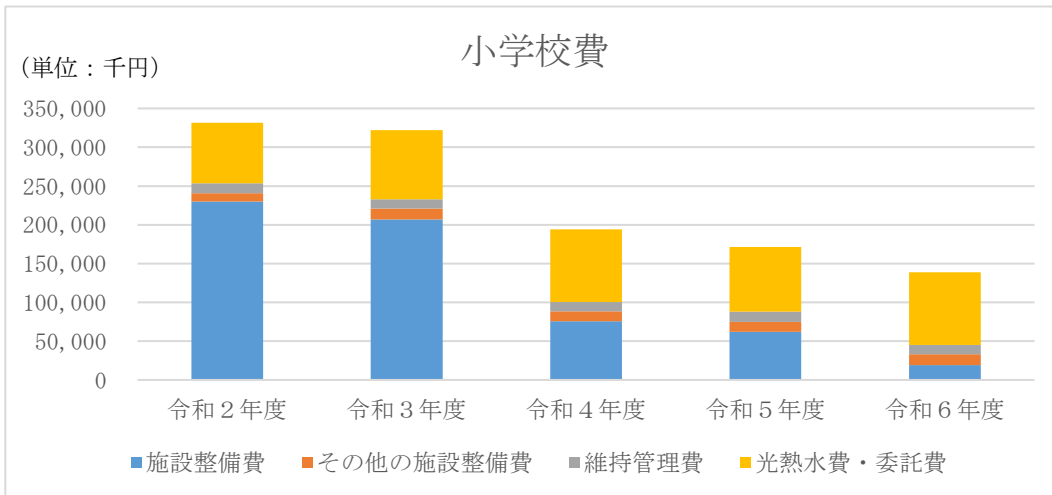
令和2年～令和6年 施設関連経費

(単位：千円)

小学校費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	小計
施設整備費	230,020	206,951	75,798	62,202	19,040	594,011
その他の施設整備費	10,770	13,912	12,598	12,500	14,042	63,822
維持管理費	12,889	12,175	12,099	13,383	11,945	62,491
光熱水費・委託費	77,689	89,045	93,688	83,329	93,833	437,584
合計	331,368	322,083	194,183	171,414	138,860	1,157,908

中学校費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	小計
施設整備費	67,400	162,380	150,599	146,453	42,111	568,943
その他の施設整備費	6,238	6,196	6,246	8,417	11,437	38,534
維持管理費	6,999	6,876	6,854	6,894	6,736	34,359
光熱水費・委託費	70,996	68,771	76,132	77,347	73,002	366,248
合計	151,633	244,223	239,831	239,111	133,286	1,008,084

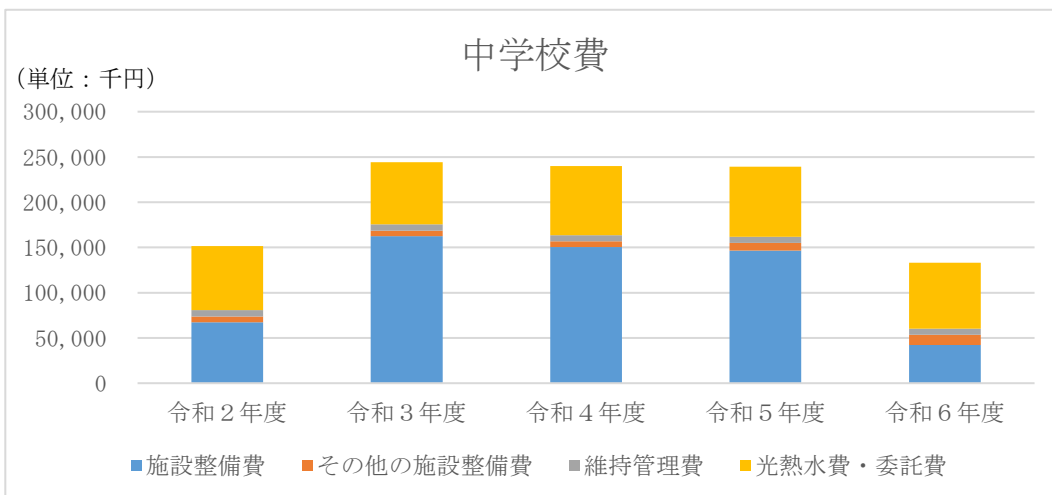
全体費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	小計
施設整備費	297,420	369,331	226,397	208,655	61,151	1,162,954
その他の施設整備費	17,008	20,108	18,844	20,917	25,479	102,356
維持管理費	19,888	19,051	18,953	20,277	18,681	96,850
光熱水費・委託費	148,685	157,816	169,820	160,676	166,835	803,832
合計	483,001	566,306	434,014	410,525	272,146	2,165,992



小学校費（主な工事内容）

令和2年度：桂林小学校校舎 大規模改修

令和3年度：東溪小学校管理教室棟 大規模改修

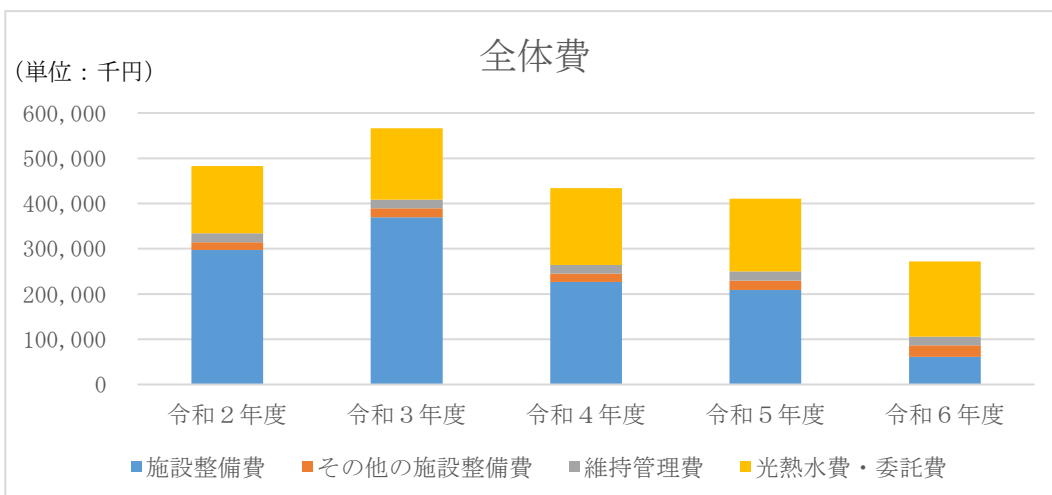


中学校費（主な工事内容）

令和3年度：北部中学校管理教室棟 大規模改修

令和4年度：東部中学校校舎 大規模改修（1年目）

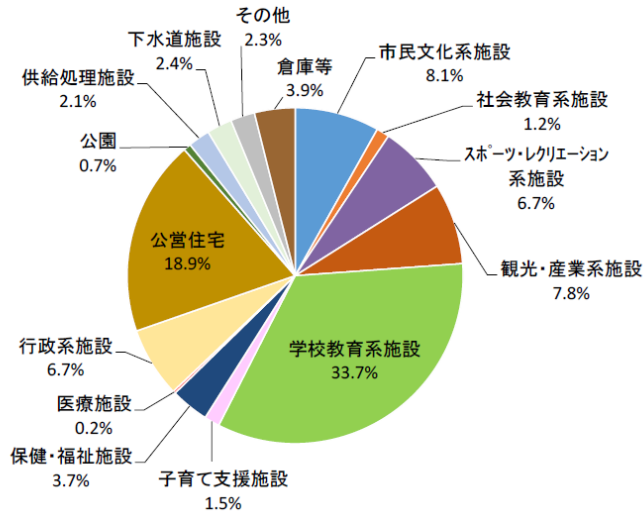
令和5年度：東部中学校校舎 大規模改修（2年目）、戸山中学校 屋根改修



図：施設関連経費の推移

5) 学校施設の保有量

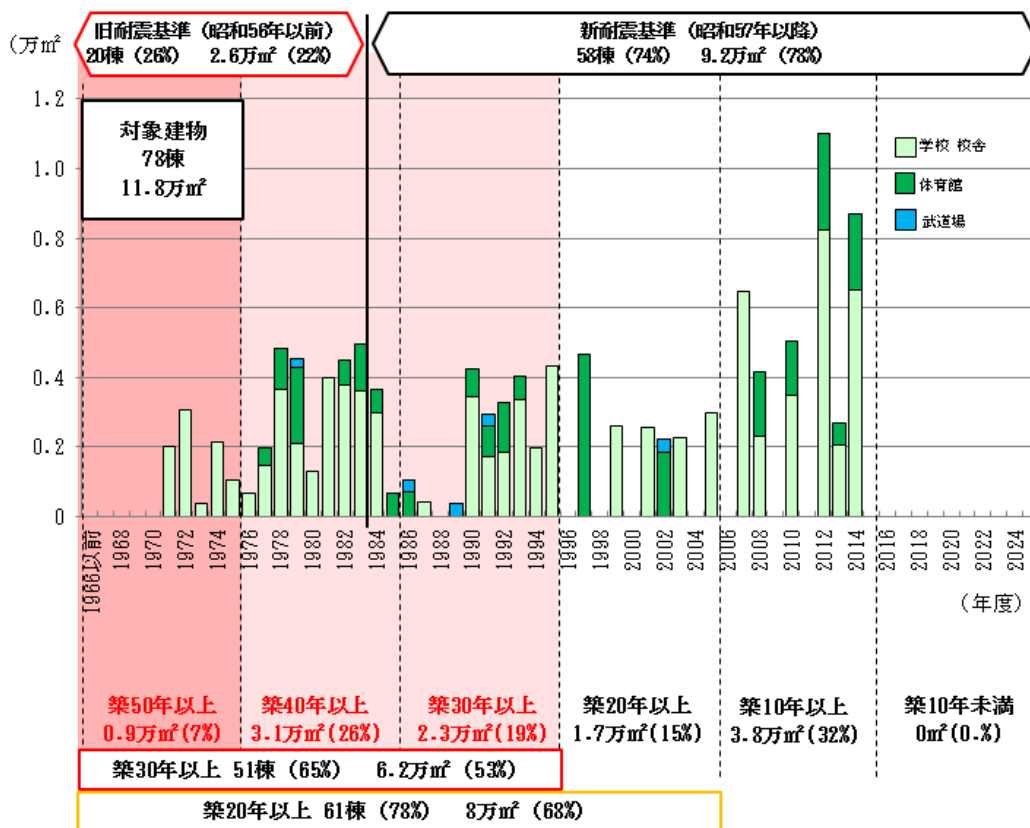
総合管理計画によると、本市が保有する公共施設（ハコモノ）の総延床面積は、平成 28 年 3 月末現在で 45 万㎡を超えており、そのうち、33.7%を学校教育系施設が占めています。



※左の「学校教育系施設」には、本計画の対象としていない小規模建物のほか、学校給食センター等の「その他の教育施設」を含んでいます。

図：市が保有する公共施設の内訳（延床面積）
資料：日田市公共施設等総合管理計画

長寿命化計画対象建物（78 棟）のうち、20 棟（総延床面積の 22%）は旧耐震基準（診断・補強済み）の建物であり、51 棟（総延床面積の 53%）は築 30 年以上経過しています。



図：長寿命化計画対象建物の築年別整備状況

※文部科学省提供ソフトによる作図

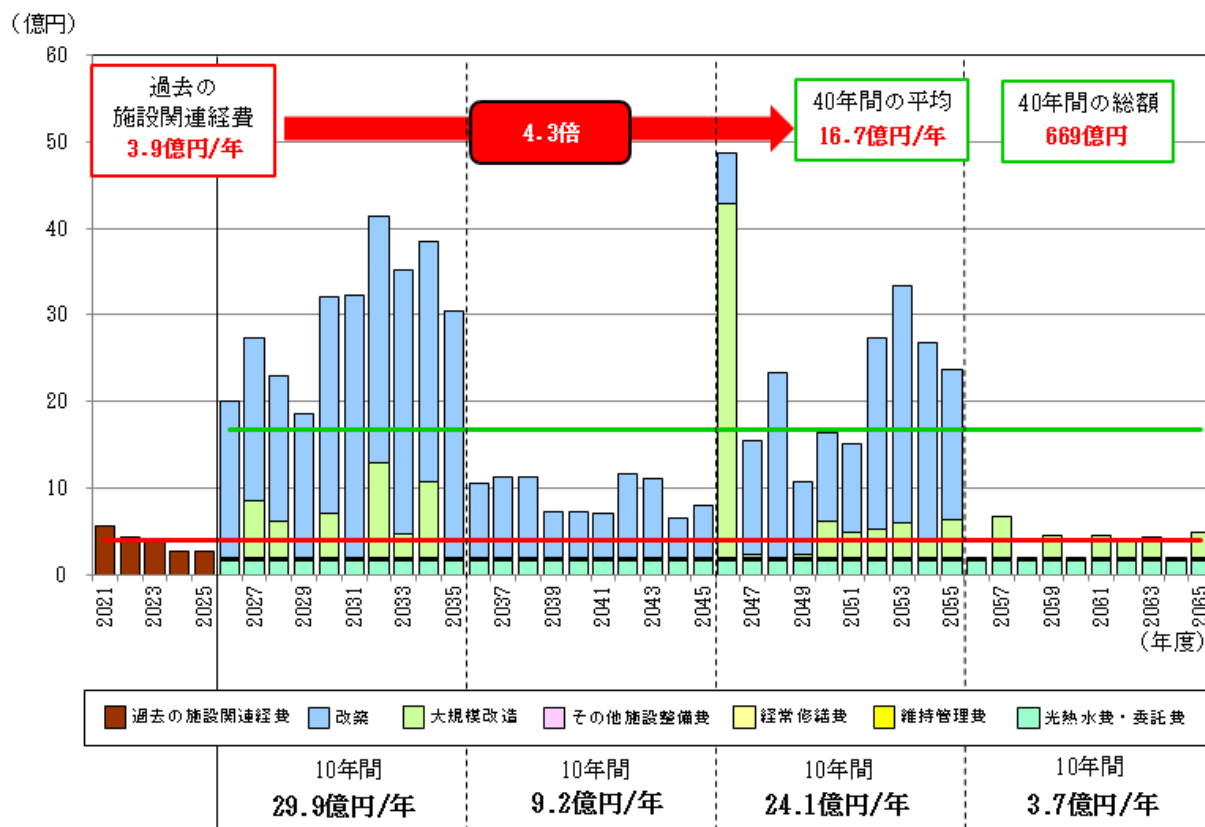
6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

長寿命化計画対象建物（78棟）について、従来の建替えを前提とした維持・更新を図るとした場合、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約669億円が必要となり、年平均で約16.7億円が必要になると試算されます。

これは、過去5年間の年平均施設関連経費の4.3倍にあたります。

特に、今後20年～30年の間における年平均の維持・更新コストは、改築や大規模改修により、過去の年平均施設関連経費に比べ大きな維持・更新コストが必要になると試算されています。

また、2046年など、突出して維持・更新コストが必要になる年もみられます。



表：コスト試算条件（従来型）

基準年度	2025	年
試算期間：基準年の翌年度から40年間		
改築		
更新周期	40	年 工事期間 2 年
	実施年数より古い建物の改築を 10 年以内に実施□	
改築単価	400,000	円/m ²
大規模改修		
実施年数	20	年周期 工事期間 1 年

7) 学校施設の活用状況

本市が保有する学校施設は、教育時間内の授業等のほか、様々な活用が図られています。

1. 学校施設の開放

本市が保有するすべての小学校及び中学校の施設は、「日田市立小中学校の施設の開放に関する規則」に基づき、あらかじめ指定された「開放施設」について教育委員会の許可を受けたうえで利用することとなっており、夜間・休日を問わず、生涯学習やスポーツ、地域振興等に利用されています。

2. 災害・緊急時の避難場所としての活用

本市の地域防災計画において、ほとんどの小学校及び中学校の施設は、指定避難所に指定されています。

これらの学校施設は、災害・緊急時の一時的避難所に活用されます。

3. 「中学生学びアップ事業」での活用

本市が実施している「中学生学びアップ事業」は、子どもの学ぶ意欲を高めるとともに、基礎的・基本的学習内容の定着を図ることを目的として、教員OB等地域住民を指導者として、中学生を対象に実施する事業です。

このうち、毎週水曜日の放課後に実施する「休道 水曜塾」は、市内全中学校の教室を活用して実施しています。

4. 「放課後児童クラブ」での活用

放課後や春・夏・冬休みなど、保護者が就労等により、昼間家庭にいない児童を預かる「放課後児童クラブ」を市内 21 ヶ所で行っており、このうち、学校施設を拠点としているものは、18 ヶ所となっています。

②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

(1) 劣化状況評価に向けた準備

長寿命化計画の対象建物（78棟）については、各建物の既存資料の収集を行い、事前に建物内容及び状況を整理・把握したうえで劣化状況評価を実施します。

①学校施設状況を把握するための既存資料調査

- ・学校施設台帳を基に対象建物の用途、規模（階数・面積）、構造や建築年度など
- ・耐震診断実施状況及び設計書などからの必要情報
- ・設計及び工事図面などから建物平面・仕様・設置設備内容等を把握する。
- ・学校建物、設備の保守点検状況（建築基準法第12条定期点検、消防点検等）の確認。
- ・過去の修繕履歴の確認



②関係資料から建物情報の整理（劣化状況評価表に関するデータの入力）

- ・関係資料を基に、評価に必要なとなるデータの整理を行う。



③劣化状況評価

- ・資料により評価が不可能な場合は、現地調査を実施する。

(2) 劣化状況評価方法

関係資料から施設の劣化が進んでいる部位や問題点、要望等を把握した上で、1級建築士など専門家により劣化状況进行评估します。

評価する建物の部位は、建築基準法第12条による定期点検の内容を参考に、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」「電気設備」「機械設備」の各部位ごとに劣化状況进行评估します。

【劣化状況判定基準】

既存資料を基に構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁及び、内部仕上げ(床・内壁・梁)を評価します。

内部仕上げ（建具・間仕切等・照明器具・エアコン等）、電気設備、機械設備は、営繕要望資料、消防点検結果などの劣化確認状況を加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行うものとします。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好	A 概ね良好
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価【内部仕上、電気設備、機械設備】

評価	基準
良好	A 20年未満
	B 20～40年
	C 40年以上
劣化	D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

※文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

■健全度

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

健全度は数値が低いほど、劣化が進んでいることを示しています。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 66 = \text{健全度}$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値(66)で割る。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

※文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果

①建物情報（評価結果）一覧表

老朽化状況は、長寿命化計画の対象建物に対し、①躯体の健全性調査と②躯体以外の劣化状況調査の2つに分けて把握・評価します。

躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから診断を行い、建物ごとの残存耐用年数や耐震診断結果を把握し、具体的な長寿命化計画につなげます。

躯体以外の劣化状況は、既存資料により把握し、劣化度の算定・評価を実施し、劣化優先順位づけや、保全方針、基準の見直し、中長期保全計画につなげます。

表：構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（小学校）

通し番号	施設名	建物名	建物基本情報				構造躯体の健全性					劣化状況評価					健全度 (100点満点)
			延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			コンクリート耐圧強度		屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	
				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)						
1	咸宜小学校	管理教室棟	4,449	2012	H24	13	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
2	咸宜小学校	普通教室棟	1,485	2010	H22	15	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
3	咸宜小学校	屋内運動場	849	2012	H24	13	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
4	桂林小学校	管理教室棟	2,156	1978	S53	47	旧	済	済	H10	15.5	A	A	B	B	B	82
5	桂林小学校	普通教室棟	1,456	1977	S52	48	旧	済	済	H10	24	A	A	B	B	B	82
6	桂林小学校	屋内運動場	696	1979	S54	46	旧	済	済	H22	27.3	B	B	B	B	B	75
7	日隈小学校	管理教室棟	3,464	1990	H2	35	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
8	日隈小学校	屋内運動場	850	1991	H3	34	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
9	若宮小学校	管理教室棟	1,351	1984	S59	41	新	不要	不要			B	B	C	C	C	50
10	若宮小学校	教室棟	1,770	1984	S59	41	新	不要	不要			B	B	C	C	C	50
11	若宮小学校	屋内運動場	680	1985	S60	40	新	不要	不要			B	B	C	C	C	50
12	三芳小学校	管理教室棟	2,018	1971	S46	54	旧	済	済	H10	22.2	B	B	B	B	B	75
13	三芳小学校	教室棟	1,541	1993	H5	32	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
14	三芳小学校	屋内運動場	727	2014	H26	11	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
15	高瀬小学校	管理教室棟	668	1976	S51	49	旧	済	済	H22	26.6	A	A	B	B	B	82
16	高瀬小学校	普通教室棟	1,847	1992	H4	33	新	不要	不要			A	B	B	B	B	77
17	高瀬小学校	特別教室棟	618	1983	S58	42	新	不要	不要			A	A	B	B	B	82
18	高瀬小学校	屋内運動場	645	2012	H24	13	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
19	光岡小学校	管理教室棟	2,284	1981	S56	44	旧	済	済	H10	25.6	B	C	C	C	C	42
20	光岡小学校	普通教室棟	2,982	2005	H17	20	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
21	光岡小学校	屋内運動場	722	1982	S57	43	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
22	朝日小学校	管理教室棟	1,916	1982	S57	43	新	不要	不要	H29	27.6	B	B	C	C	C	50
23	朝日小学校	特別教室棟	395	1973	S48	52	旧	済	済	H22	22.2	A	A	B	B	B	82
24	朝日小学校	屋内運動場	680	1983	S58	42	新	不要	不要			B	A	B	B	B	81
25	三和小学校	管理教室棟	1,903	1983	S58	42	新	不要	不要	H29	30.6	B	C	C	C	C	42
26	三和小学校	普通教室棟	1,079	1983	S58	42	新	不要	不要	H29	30.6	C	B	C	C	C	48
27	三和小学校	屋内運動場	680	1984	S59	41	新	不要	不要			B	B	C	C	C	50
28	有田小学校	管理教室棟	1,777	1974	S49	51	旧	済	済	H8	17.6	A	A	B	B	B	82
29	有田小学校	普通教室棟	356	1974	S49	51	旧	済	不要	H21	15.5	B	A	B	B	B	81
30	有田小学校	特別教室棟	431	1987	S62	38	新	不要	不要			A	B	B	B	B	77
31	有田小学校	屋内運動場	632	2013	H25	12	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
32	小野小学校	管理教室棟	1,801	1993	H5	32	新	不要	不要			B	A	B	B	B	81
33	小野小学校	屋内運動場	680	1993	H5	32	新	不要	不要			C	B	B	B	B	73
34	大明中学校	小学校棟・中学校棟・特別教室棟	3,766	2012	H24	13	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
35	大明中学校	屋内運動場	1,305	2012	H24	13	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
36	大明中学校	武道場	389	2002	H14	23	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
37	石井小学校	管理教室棟	1,032	1975	S50	50	旧	済	済	H9	19	A	A	B	B	B	82
38	石井小学校	教室棟	1,876	1982	S57	43	新	不要	不要	H29	27.6	C	B	C	C	C	48
39	石井小学校	屋内運動場	518	1977	S52	48	旧	済	済	H22	18	B	B	B	B	B	75
40	前津江小学校	管理教室棟	1,810	1995	H7	30	新	不要	不要			C	B	B	B	B	73
41	前津江小学校	屋内運動場	1,291	1997	H9	28	新	不要	不要			C	B	B	B	B	73
42	津江中学校	管理教室棟	1,494	1978	S53	47	旧	済	不要	H14	34.6	B	B	B	B	B	75
43	津江中学校	教室棟	2,073	2013	H25	12	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
44	津江中学校	屋内運動場	670	1979	S54	46	旧	済	済	H22	20.8	B	B	B	B	B	75
45	津江中学校	武道場	258	1979	S54	46	旧	済	不要	H22		B	B	B	B	B	75
46	大山中学校	管理教室棟	4,019	2014	H26	11	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
47	大山中学校	屋内運動場	1,449	2014	H26	11	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
48	東溪小学校	管理教室棟	1,959	1994	H6	31	新	不要	不要			A	A	B	B	B	82
49	東溪小学校	屋内運動場	771	1990	H2	35	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
50	いつま小学校	管理教室棟	1,744	1991	H3	34	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
51	いつま小学校	屋内運動場	700	1986	S61	39	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75

■: 築50年以上 ■: 築30年以上50年未満

表：構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（中学校）

建物基本情報							構造躯体の健全性					劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	延床面 積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			コンクリート耐圧強度		屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)						
52	東部中学校	管理教室棟	3,065	1972	S47	53	旧	済	済	H8	20.2	A	B	B	A	A	86
53	東部中学校	特別教室棟	2,092	1979	S54	46	旧	済	済	H8	25.3	A	B	B	A	A	86
54	東部中学校	家庭科室	100	1995	H7	30	新	不要	不要			B	C	B	B	B	67
55	東部中学校	屋内運動場	1,422	1992	H4	33	新	不要	不要			B	C	B	B	B	67
56	東部中学校	武道場	350	1986	S61	39	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
57	三隈中学校	管理教室棟	6,486	2007	H19	18	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
58	三隈中学校	屋内運動場	1,832	2008	H20	17	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
59	三隈中学校	武道場	376	1989	H元	36	新	不要	不要			A	A	B	B	B	82
60	南部中学校	管理教室棟	1,689	1981	S56	44	旧	済	不要	H20	20.3	C	B	C	C	C	48
61	南部中学校	管理・普通教室棟	2,005	2010	H22	15	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
62	南部中学校	屋内運動場	1,379	1997	H9	28	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
63	南部中学校	武道場	361	1991	H3	34	新	不要	不要			B	C	B	B	B	67
64	北部中学校	管理教室棟	1,318	1980	S55	45	旧	済	済	H9	30.3	A	A	B	B	B	82
65	北部中学校	教室棟	2,560	2001	H13	24	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
66	北部中学校	屋内運動場	1,858	2002	H14	23	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
67	戸山中学校	管理教室棟	1,902	1995	H7	30	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
68	戸山中学校	特別教室棟	514	1995	H7	30	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
69	戸山中学校	屋内運動場	1,977	1997	H9	28	新	不要	不要			C	C	B	B	B	65
70	東有田中学校	管理教室棟	2,603	1999	H11	26	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
71	東有田中学校	屋内運動場	1,565	2010	H22	15	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
72	前津江中学校	管理教室棟・特別教室棟	1,943	2003	H15	22	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
73	前津江中学校	特別教室棟	331	2003	H15	22	新	不要	不要			B	B	B	B	B	75
74	前津江中学校	屋内運動場	680	1983	S58	42	新	不要	不要			B	B	C	C	C	50
75	東溪中学校	管理教室棟	2,501	2014	H26	11	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
76	東溪中学校	屋内運動場	1,200	1978	S53	47	旧	済	済	H16	17.8	B	B	B	B	B	75
77	五馬中学校	管理教室棟	2,311	2008	H20	17	新	不要	不要			B	B	A	A	A	93
78	五馬中学校	屋内運動場	840	1979	S54	46	旧	済	済	H16	26.1	B	B	B	B	B	75

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上50年未満

築年数は、令和7年現在

②構造躯体の健全性の評価

構造躯体の健全性の把握にあたっては、長寿命化計画の対象建物（78 棟）のうち、建築年に基づく耐震基準の適用が建築基準法改正（昭和 56 年）以前に建築された建物（20 棟）について、耐震診断報告書を基に長寿命化改修での適否について検討するものです。

なお、旧耐震基準の建物で、コンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下の建物はありません。

圧縮強度、is 値とも問題ないことから、長寿命化による更新が可能です。

表：構造躯体の健全性の評価結果

建物基本情報			構造躯体の健全性						
施設名	建物名	築年数	耐震安全性			耐震診断などの実施状況			長寿命化適合判定
			基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm^2)	Is値	試算上の区分
桂林小学校	管理教室棟	47	旧	済	済	H10	15.5	0.72	長寿命
桂林小学校	普通教室棟	48	旧	済	済	H10	24	0.78	長寿命
桂林小学校	屋内運動場	46	旧	済	済	H22	24	1.05	長寿命
三芳小学校	管理教室棟	54	旧	済	済	H10	22.2	0.7	長寿命
高瀬小学校	管理教室棟	49	旧	済	済	H22	26.6	0.76	長寿命
光岡小学校	管理教室棟	44	旧	済	済	H10	25.6	0.73	長寿命
朝日小学校	特別教室棟	52	旧	済	済	H22	22.2	0.71	長寿命
有田小学校	管理教室棟	51	旧	済	済	H8	17.6	0.73	長寿命
有田小学校	普通教室棟	51	旧	済	不要	H21	15.5	0.82	長寿命
石井小学校	管理教室棟	50	旧	済	済	H9	19	0.93	長寿命
石井小学校	屋内運動場	48	旧	済	済	H22	18	0.82	長寿命
津江小中学校	管理教室棟	47	旧	済	不要	H14	34.6	0.92	長寿命
津江小中学校	屋内運動場	46	旧	済	済	H22	20.8	0.95	長寿命
津江小中学校	武道場	46	旧	済	不要	H22	-	1.45	長寿命
東部中学校	管理教室棟	53	旧	済	済	H8	20.2	0.76	長寿命
東部中学校	特別教室棟	46	旧	済	済	H8	25.3	0.72	長寿命
南部中学校	管理教室棟	44	旧	済	不要	H20	20.3	0.7	長寿命
北部中学校	管理教室棟	45	旧	済	済	H9	30.3	0.71	長寿命
東溪中学校	屋内運動場	47	旧	済	済	H16	17.8	0.74	長寿命
五馬中学校	屋内運動場	46	旧	済	済	H16	26.1	0.76	長寿命

■：築50年以上

■：築30年以上50年未満

築年数は、令和 7 年現在

1) is 値

is 値とは構造耐震指標のことをいい、地震力に対する建物の強度、靱性（じんせい：変形能力、粘り強さ）を考慮し、建築物の階ごとに算出することとなっています。

「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」の告示（平成 18 年度国土交通省告示 第 184 号と 185 号）により、震度 6~7 程度の規模の地震に対する is 値の評価については以下の様に定められています。

is 値が 0.6 以上	倒壊、又は崩壊する危険性が低い
is 値が 0.3 以上 0.6 未満	倒壊、又は崩壊する危険性がある
is 値が 0.3 未満	倒壊、又は崩壊する危険性が高い

2) 圧縮強度

コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下のものは、試算上「改築」とします。

※文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より

③構造躯体以外の劣化状況等の評価（屋上・屋根、外壁別にみた劣化状況）

小学校（小中一貫校を含む）で、屋根・屋上、外壁の劣化状況の評価が低くなっている学校は、光岡小学校（管理教室棟）、三和小学校（管理・普通教室棟）、小野小学校（屋内運動場）、石井小学校（教室棟）、前津江小学校（管理教室棟・屋内運動場）となっています。

内部仕上げ、電気設備、機械設備の劣化状況の評価が低くなっているのは、若宮小学校（管理教室棟・教室棟・屋内運動場）、光岡小学校（管理教室棟）、朝日小学校（管理教室棟）、三和小学校（管理・普通教室棟・屋内運動場）、石井小学校（教室棟）となっています。

表：構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（小学校）

通し番号	施設名	建物基本情報					劣化状況評価						大規模改造年度
		建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
1	咸宜小学校	管理教室棟	RC	4	4,449	13	B	B	A	A	A	93	
2	咸宜小学校	普通教室棟	W	2	1,485	15	B	B	A	A	A	93	
3	咸宜小学校	屋内運動場	RC	2	849	13	B	B	A	A	A	93	
4	桂林小学校	管理教室棟	RC	3	2,156	47	A	A	B	B	B	82	H12耐、R2大
5	桂林小学校	普通教室棟	RC	3	1,456	48	A	A	B	B	B	82	H12耐、R2大
6	桂林小学校	屋内運動場	S	1	696	46	B	B	B	B	B	75	H24大・耐
7	日隈小学校	管理教室棟	RC	3	3,464	35	B	B	B	B	B	75	
8	日隈小学校	屋内運動場	RC	1	850	34	B	B	B	B	B	75	H27電
9	若宮小学校	管理教室棟	RC	2	1,351	41	B	B	C	C	C	50	
10	若宮小学校	教室棟	RC	3	1,770	41	B	B	C	C	C	50	
11	若宮小学校	屋内運動場	RC	1	680	40	B	B	C	C	C	50	H27電
12	三芳小学校	管理教室棟	RC	3	2,018	54	B	B	B	B	B	75	H12大・耐
13	三芳小学校	教室棟	W	2	1,541	32	B	B	B	B	B	75	
14	三芳小学校	屋内運動場	RC	2	727	11	B	B	A	A	A	93	
15	高瀬小学校	管理教室棟	RC	2	668	49	A	A	B	B	B	82	H24耐、H29大
16	高瀬小学校	普通教室棟	RC	3	1,847	33	A	B	B	B	B	77	H29屋
17	高瀬小学校	特別教室棟	RC	2	618	42	A	A	B	B	B	82	H29大
18	高瀬小学校	屋内運動場	W	2	645	13	B	B	A	A	A	93	
19	光岡小学校	管理教室棟	RC	3	2,284	44	B	C	C	C	C	42	H12耐、H23屋
20	光岡小学校	普通教室棟	RC	4	2,982	20	B	B	B	B	B	75	
21	光岡小学校	屋内運動場	S	1	722	43	B	B	B	B	B	75	H23屋、H27大
22	朝日小学校	管理教室棟	RC	3	1,916	43	B	B	C	C	C	50	H14屋
23	朝日小学校	特別教室棟	RC	2	395	52	A	A	B	B	B	82	H24耐、H29大
24	朝日小学校	屋内運動場	RC	1	680	42	B	A	B	B	B	81	H27大
25	三和小学校	管理教室棟	RC	3	1,903	42	B	C	C	C	C	42	H21屋
26	三和小学校	普通教室棟	RC	2	1,079	42	C	B	C	C	C	48	H18屋
27	三和小学校	屋内運動場	RC	1	680	41	B	B	C	C	C	50	H23屋、H27電
28	有田小学校	管理教室棟	RC	3	1,777	51	A	A	B	B	B	82	H10耐、H14屋 H28大
29	有田小学校	普通教室棟	RC	1	356	51	B	A	B	B	B	81	H15屋、H28大
30	有田小学校	特別教室棟	RC	2	431	38	A	B	B	B	B	77	R3屋
31	有田小学校	屋内運動場	RC	2	632	12	B	B	A	A	A	93	
32	小野小学校	管理教室棟	W	2	1,801	32	B	A	B	B	B	81	R2外、R4外
33	小野小学校	屋内運動場	RC	1	680	32	C	B	B	B	B	73	H27電
34	大明小中学校	小学校棟・中学校棟・特別教室棟	RC	3	3,766	13	B	B	A	A	A	93	
35	大明小中学校	屋内運動場	RC	2	1,305	13	B	B	A	A	A	93	
36	大明小中学校	武道場	S	2	389	23	B	B	B	B	B	75	
37	石井小学校	管理教室棟	RC	3	1,032	50	A	A	B	B	B	82	H11耐、H13屋 H30大
38	石井小学校	教室棟	RC	4	1,876	43	C	B	C	C	C	48	
39	石井小学校	屋内運動場	S	1	518	48	B	B	B	B	B	75	H26大・耐
40	前津江小学校	管理教室棟	RC	2	1,810	30	C	B	B	B	B	73	
41	前津江小学校	屋内運動場	RC	2	1,291	28	C	B	B	B	B	73	
42	津江小中学校	管理教室棟	RC	2	1,494	47	B	B	B	B	B	75	H19外、H25大
43	津江小中学校	教室棟	RC	3	2,073	12	B	B	A	A	A	93	
44	津江小中学校	屋内運動場	RC	1	670	46	B	B	B	B	B	75	H23耐、H28大
45	津江小中学校	武道場	S	1	258	46	B	B	B	B	B	75	H20屋、H28吊天撤去、 トイレ・E・M改修
46	大山小中学校	管理教室棟	RC	3	4,019	11	B	B	A	A	A	93	
47	大山小中学校	屋内運動場	RC	2	1,449	11	B	B	A	A	A	93	
48	東浜小学校	管理教室棟	RC	3	1,959	31	A	A	B	B	B	82	R3大
49	東浜小学校	屋内運動場	S	1	771	35	B	B	B	B	B	75	H22屋
50	いつま小学校	管理教室棟	RC	2	1,744	34	B	B	B	B	B	75	
51	いつま小学校	屋内運動場	S	1	700	39	B	B	B	B	B	75	R3屋

中学校で、屋根・屋上、外壁の劣化状況の評価が低くなっている学校は、東部中学校（家庭科室）、南部中学校（管理教室棟、武道場）、戸山中学校（屋内運動場）となっています。

内部仕上げ、電気設備、機械設備の劣化状況の評価が低くなっているのは、南部中学校（管理教室棟）、前津江中学校（屋内運動場）となっています。

表：構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（中学校）

通し 番号	施設名	建物名	建物基本情報				劣化状況評価						大規模改造年度
			構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	
52	東部中学校	管理教室棟	RC	4	3,065	53	A	B	B	A	A	86	H10耐、H22外・内 R5屋・電・機
53	東部中学校	特別教室棟	SRC	3	2,092	46	A	B	B	A	A	86	H10耐、H22外 R5屋・内・電・機
54	東部中学校	家庭科室	W	1	100	30	B	C	B	B	B	67	
55	東部中学校	屋内運動場	RC	1	1,422	33	B	C	B	B	B	67	H23屋、H27電
56	東部中学校	武道場	S	1	350	39	B	B	B	B	B	75	
57	三隈中学校	管理教室棟	RC	4	6,486	18	B	B	A	A	A	93	
58	三隈中学校	屋内運動場	RC	2	1,832	17	B	B	A	A	A	93	
59	三隈中学校	武道場	S	1	376	36	A	A	B	B	B	82	R6大
60	南部中学校	管理教室棟	RC	3	1,689	44	C	B	C	C	C	48	H12屋
61	南部中学校	管理・普通教室棟	RC	3	2,005	15	B	B	A	A	A	93	
62	南部中学校	屋内運動場	RC	2	1,379	28	B	B	B	B	B	75	H27電
63	南部中学校	武道場	S	2	361	34	B	C	B	B	B	67	
64	北部中学校	管理教室棟	RC	3	1,318	45	A	A	B	B	B	82	H11耐、H14屋 H22内、R3長
65	北部中学校	教室棟	RC	3	2,560	24	B	B	B	B	B	75	
66	北部中学校	屋内運動場	RC	2	1,858	23	B	B	B	B	B	75	H27電
67	戸山中学校	管理教室棟	RC	3	1,902	30	B	B	B	B	B	75	R5屋
68	戸山中学校	特別教室棟	RC	3	514	30	B	B	B	B	B	75	R5屋
69	戸山中学校	屋内運動場	RC	1	1,977	28	C	C	B	B	B	65	
70	東有田中学校	管理教室棟	W	2	2,603	26	B	B	B	B	B	75	H18外
71	東有田中学校	屋内運動場	RC	2	1,565	15	B	B	A	A	A	93	
72	前津江中学校	管理教室棟・特別教室棟	W	2	1,943	22	B	B	B	B	B	75	H26外
73	前津江中学校	特別教室棟	W	1	331	22	B	B	B	B	B	75	H27外
74	前津江中学校	屋内運動場	S	2	680	42	B	B	C	C	C	50	H30屋
75	東浜中学校	管理教室棟	RC	3	2,501	11	B	B	A	A	A	93	
76	東浜中学校	屋内運動場	S	1	1,200	47	B	B	B	B	B	75	H26大・耐
77	五馬中学校	管理教室棟	W	2	2,311	17	B	B	A	A	A	93	H28外
78	五馬中学校	屋内運動場	S	1	840	46	B	B	B	B	B	75	H24大・耐

- : 築50年以上
 : 築30年以上50年未満
 A 概ね良好
 B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
 C 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
 D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

築年数は、令和7年現在

対象建物（78 棟）のうち、築年が 30 年を超える建物は 51 棟ですが、近年大規模改修を実施した建物は、健全度が高くなっています。

小学校（小中一貫校を含む）の全 51 棟のうち、築年が 30 年を超える建物は 37 棟ですが、近年大規模改修が行われた、朝日小学校（特別教室棟）、有田小学校（管理・普通教室棟）、石井小学校（管理教室棟）、高瀬小学校（管理教室棟）、東溪小学校（管理教室棟）については、健全度が高くなっています。

また、経年劣化により健全度が低くなっている建物は、光岡小学校（管理教室棟）、朝日小学校（管理教室棟）、石井小学校（教室棟）、三和小学校（管理・普通教室棟）、若宮小学校（管理教室棟、教室棟、屋内運動場）となっています。

中学校の全 27 棟のうち、築年が 30 年を超える建物は 14 棟ですが、近年大規模改修が行われた、東部中学校（管理・特別教室棟）、北部中学校（管理教室棟）については、健全度が高くなっています。

また、経年劣化により健全度が低くなっている建物は、南部中学校（管理教室棟）、前津江中学校（屋内運動場）となっています。

さらに、戸山中学校（屋内運動場）など、築年が 30 年を下回る建物でも健全度が低い建物が見られます。

表 1-1：構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（築年順）

建物基本情報							劣化状況評価						大規模改造年度
通し 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年 数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	
12	三芳小学校	管理教室棟	RC	3	2,018	54	B	B	B	B	B	75	H12大・耐
52	東部中学校	管理教室棟	RC	4	3,065	53	A	B	B	A	A	86	H10耐、H22外・内 R5屋・電・機
23	朝日小学校	特別教室棟	RC	2	395	52	A	A	B	B	B	82	H24耐、H29大
29	有田小学校	普通教室棟	RC	1	356	51	B	A	B	B	B	81	H15屋、H28大
28	有田小学校	管理教室棟	RC	3	1,777	51	A	A	B	B	B	82	H10耐、H14屋、H28大
37	石井小学校	管理教室棟	RC	3	1,032	50	A	A	B	B	B	82	H11耐、H13屋、H30大
15	高瀬小学校	管理教室棟	RC	2	668	49	A	A	B	B	B	82	H24耐、H29大
39	石井小学校	屋内運動場	S	1	518	48	B	B	B	B	B	75	H26大・耐
5	桂林小学校	普通教室棟	RC	3	1,456	48	A	A	B	B	B	82	H12耐、R2大
42	津江小中学校	管理教室棟	RC	2	1,494	47	B	B	B	B	B	75	H19外、H25大
76	東溪中学校	屋内運動場	S	1	1,200	47	B	B	B	B	B	75	H26大・耐
4	桂林小学校	管理教室棟	RC	3	2,156	47	A	A	B	B	B	82	H12耐、R2大
6	桂林小学校	屋内運動場	S	1	696	46	B	B	B	B	B	75	H24大・耐
44	津江小中学校	屋内運動場	RC	1	670	46	B	B	B	B	B	75	H23耐、H28大
45	津江小中学校	武道場	S	1	258	46	B	B	B	B	B	75	H20屋、H28吊天撤去、 トイレ・E・M改修
78	五馬中学校	屋内運動場	S	1	840	46	B	B	B	B	B	75	H24大・耐
53	東部中学校	特別教室棟	SRC	3	2,092	46	A	B	B	A	A	86	H10耐、H22外 R5屋・内・電・機
64	北部中学校	管理教室棟	RC	3	1,318	45	A	A	B	B	B	82	H11耐、H14屋 H22内、R3長
19	光岡小学校	管理教室棟	RC	3	2,284	44	B	C	C	C	C	42	H12耐、H23屋
60	南部中学校	管理教室棟	RC	3	1,689	44	C	B	C	C	C	48	H12屋
38	石井小学校	教室棟	RC	4	1,876	43	C	B	C	C	C	48	
22	朝日小学校	管理教室棟	RC	3	1,916	43	B	B	C	C	C	50	H14屋
21	光岡小学校	屋内運動場	S	1	722	43	B	B	B	B	B	75	H23屋、H27大
25	三和小学校	管理教室棟	RC	3	1,903	42	B	C	C	C	C	42	H21屋
26	三和小学校	普通教室棟	RC	2	1,079	42	C	B	C	C	C	48	H18屋
74	前津江中学校	屋内運動場	S	2	680	42	B	B	C	C	C	50	H30屋
24	朝日小学校	屋内運動場	RC	1	680	42	B	A	B	B	B	81	H27大
17	高瀬小学校	特別教室棟	RC	2	618	42	A	A	B	B	B	82	H29大
9	若宮小学校	管理教室棟	RC	2	1,351	41	B	B	C	C	C	50	
10	若宮小学校	教室棟	RC	3	1,770	41	B	B	C	C	C	50	
27	三和小学校	屋内運動場	RC	1	680	41	B	B	C	C	C	50	H23屋、H27電
11	若宮小学校	屋内運動場	RC	1	680	40	B	B	C	C	C	50	H27電
51	いつま小学校	屋内運動場	S	1	700	39	B	B	B	B	B	75	R3屋
56	東部中学校	武道場	S	1	350	39	B	B	B	B	B	75	
30	有田小学校	特別教室棟	RC	2	431	38	A	B	B	B	B	77	R3屋
59	三隈中学校	武道場	S	1	376	36	A	A	B	B	B	82	R6大
7	日隈小学校	管理教室棟	RC	3	3,464	35	B	B	B	B	B	75	
49	東溪小学校	屋内運動場	S	1	771	35	B	B	B	B	B	75	H22屋
63	南部中学校	武道場	S	2	361	34	B	C	B	B	B	67	
8	日隈小学校	屋内運動場	RC	1	850	34	B	B	B	B	B	75	H27電

表 1-2：構造躯体以外の劣化状況等の評価結果（築年順）

建物基本情報							劣化状況評価						大規模改造年度
通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
50	いつま小学校	管理教室棟	RC	2	1,744	34	B	B	B	B	B	75	
55	東部中学校	屋内運動場	RC	1	1,422	33	B	C	B	B	B	67	H23屋、H27電
16	高瀬小学校	普通教室棟	RC	3	1,847	33	A	B	B	B	B	77	H29屋
33	小野小学校	屋内運動場	RC	1	680	32	C	B	B	B	B	73	H27電
13	三芳小学校	教室棟	W	2	1,541	32	B	B	B	B	B	75	
32	小野小学校	管理教室棟	W	2	1,801	32	B	A	B	B	B	81	R2外、R4外
48	東溪小学校	管理教室棟	RC	3	1,959	31	A	A	B	B	B	82	R3大
54	東部中学校	家庭科室	W	1	100	30	B	C	B	B	B	67	
40	前津江小学校	管理教室棟	RC	2	1,810	30	C	B	B	B	B	73	
67	戸山中学校	管理教室棟	RC	3	1,902	30	B	B	B	B	B	75	R5屋
68	戸山中学校	特別教室棟	RC	3	514	30	B	B	B	B	B	75	R5屋
69	戸山中学校	屋内運動場	RC	1	1,977	28	C	C	B	B	B	65	
41	前津江小学校	屋内運動場	RC	2	1,291	28	C	B	B	B	B	73	
62	南部中学校	屋内運動場	RC	2	1,379	28	B	B	B	B	B	75	H27電
70	東有田中学校	管理教室棟	W	2	2,603	26	B	B	B	B	B	75	H18外
65	北部中学校	教室棟	RC	3	2,560	24	B	B	B	B	B	75	
36	大明小中学校	武道場	S	2	389	23	B	B	B	B	B	75	
66	北部中学校	屋内運動場	RC	2	1,858	23	B	B	B	B	B	75	H27電
72	前津江中学校	管理教室棟・特別教室棟	W	2	1,943	22	B	B	B	B	B	75	H26外
73	前津江中学校	特別教室棟	W	1	331	22	B	B	B	B	B	75	H27外
20	光岡小学校	普通教室棟	RC	4	2,982	20	B	B	B	B	B	75	
57	三隈中学校	管理教室棟	RC	4	6,486	18	B	B	A	A	A	93	
58	三隈中学校	屋内運動場	RC	2	1,832	17	B	B	A	A	A	93	
77	五馬中学校	管理教室棟	W	2	2,311	17	B	B	A	A	A	93	H28外
2	咸宜小学校	普通教室棟	W	2	1,485	15	B	B	A	A	A	93	
61	南部中学校	管理・普通教室棟	RC	3	2,005	15	B	B	A	A	A	93	
71	東有田中学校	屋内運動場	RC	2	1,565	15	B	B	A	A	A	93	
1	咸宜小学校	管理教室棟	RC	4	4,449	13	B	B	A	A	A	93	
3	咸宜小学校	屋内運動場	RC	2	849	13	B	B	A	A	A	93	
18	高瀬小学校	屋内運動場	W	2	645	13	B	B	A	A	A	93	
34	大明小中学校	小学校棟・中学校棟・特別教室棟	RC	3	3,766	13	B	B	A	A	A	93	
35	大明小中学校	屋内運動場	RC	2	1,305	13	B	B	A	A	A	93	
43	津江小中学校	教室棟	RC	3	2,073	12	B	B	A	A	A	93	
31	有田小学校	屋内運動場	RC	2	632	12	B	B	A	A	A	93	
14	三芳小学校	屋内運動場	RC	2	727	11	B	B	A	A	A	93	
46	大山小中学校	管理教室棟	RC	3	4,019	11	B	B	A	A	A	93	
47	大山小中学校	屋内運動場	RC	2	1,449	11	B	B	A	A	A	93	
75	東溪中学校	管理教室棟	RC	3	2,501	11	B	B	A	A	A	93	

■ : 築50年以上

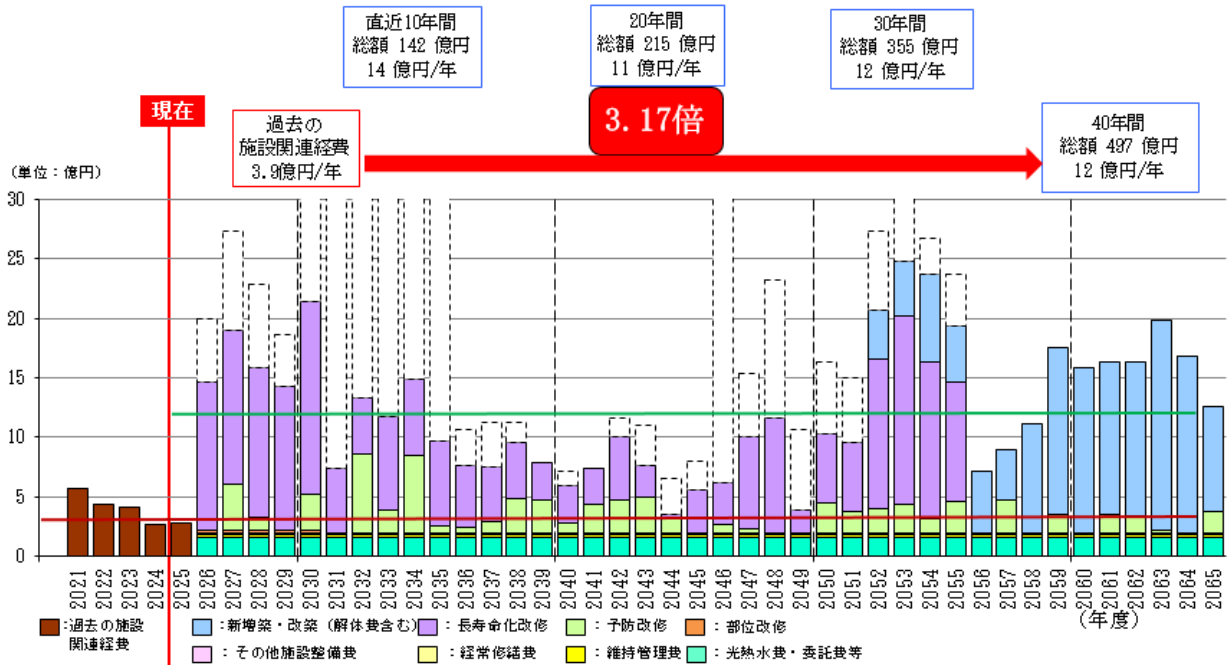
■ : 築30年以上50年未満

築年数は、令和7年現在

2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

本計画における長寿命化計画の対象建物（78 棟）の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、長寿命化を前提として試算した場合の結果は、以下のとおりです。

今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で 497 億円と試算され、1 年あたり約 12 億円の維持・更新コストが必要になると試算されます。



図：長寿命化計画対象建物の今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

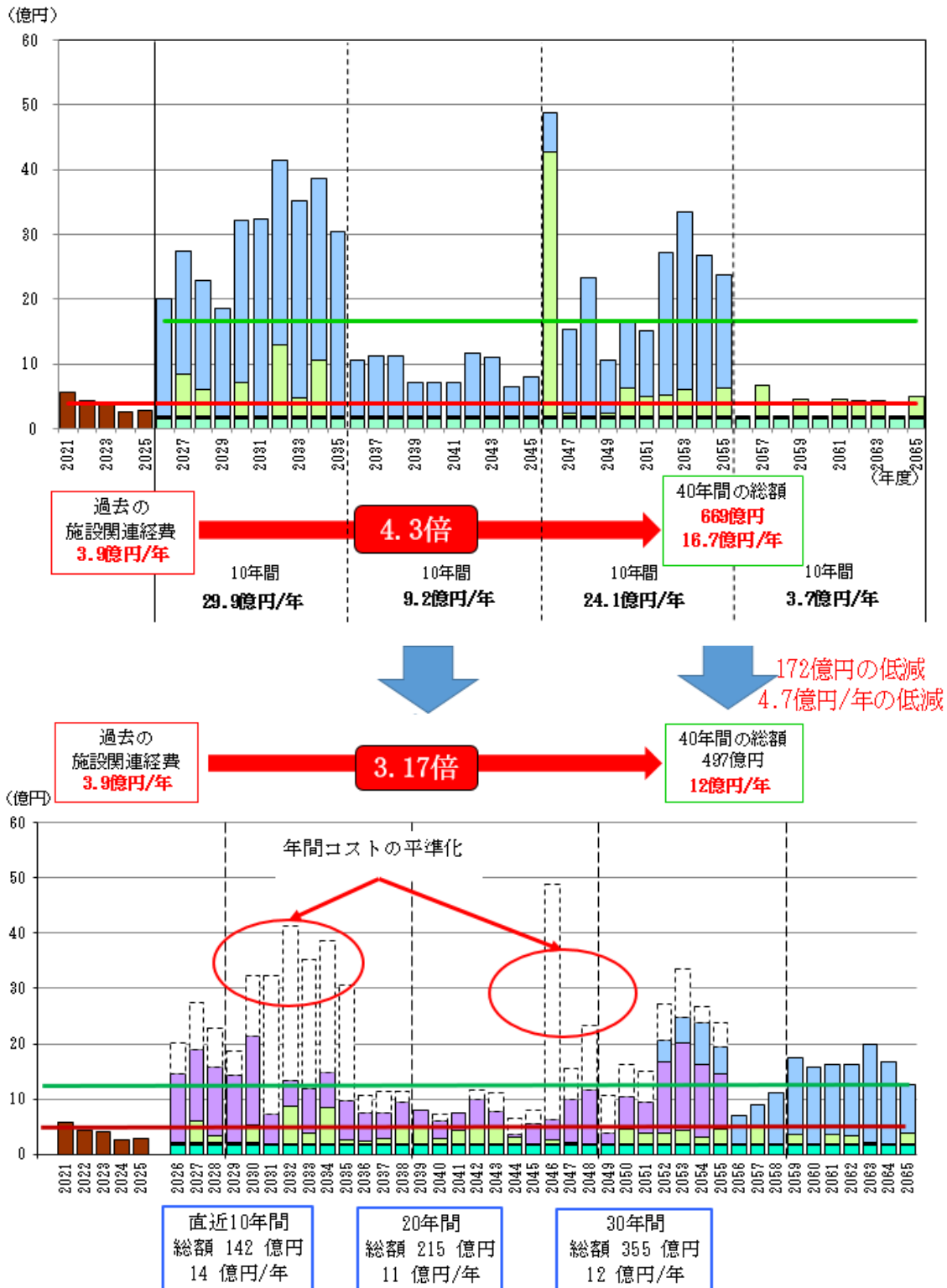
※文部科学省提供ソフトによる作図

コスト試算条件（長寿命化型）

<p>基準年度 2025</p> <p>試算期間：基準年の翌年度から40年間</p>
<p>改築</p> <p>更新周期</p> <p><改築、要調査> 60年 (工事期間3年)</p> <p><長寿命> 80年 (工事期間2年)</p> <p>実施年数より古い改築10年以内に実施</p>
<p>長寿命化改修</p> <p>改修周期</p> <p><長寿命> 40年 (工事期間2年)</p> <p>実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施</p>
<p>予防改修</p> <p>改修周期</p> <p>20年周期</p> <p>(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)</p>
<p>部位修繕</p> <p>D評価：今後3年以内に部位修繕を実施</p> <p>C評価：今後5年以内に部位修繕を実施</p> <p>(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)</p> <p>A評価：今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く</p>

長寿命化を前提として試算した場合、従来型の改築をメインとした施設整備を行うとした場合に比べ、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約172億円の低減が可能となり、1年あたり約4.7億円のコスト低減につながります。

また、経過年数により突出してコストがかかる年の費用が低減され、年ごとの維持・更新コストの平準化にも寄与します。



図：今後の維持・更新コストの比較（従来型と長寿命化型）

※文部科学省提供ソフトによる作図

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

①学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

学校施設の実態や目指すべき姿等を踏まえ、今後の学校施設の規模や配置計画に関する方針について定めます。

<p>公共施設等 総合管理計 画の全体方 針</p>	<p>総合管理計画では、中長期的な財政状況を踏まえた上で、人口推計や地域特性、まちづくり等に配慮した、公共施設等の適正な配置や効率的な管理運営を実現していくため、全体方針を以下のように定めています。</p> <p>《全体方針1》公共施設（ハコモノ）の総量の圧縮を進める</p> <p>(1) 公共施設（ハコモノ）の必要性等を検証し、施設の総量を削減する。</p> <p>(2) 原則として公共施設（ハコモノ）の新規整備は行わない。</p> <p>《全体方針2》サービスの質を維持しつつ効果的・効率的な整備や管理運営を進める</p> <p>(1) 民間の資金やノウハウを活用した公共施設（ハコモノ）の更新・運営を検討する。</p> <p>(2) 予防保全と長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を進める。</p> <p>(3) 施設利用者の安心・安全を確保した施設整備を進める。</p> <p>(4) 受益者負担の考え方に基づく効率的な管理運営を進める。</p> <p>《全体方針3》人口減少を見据え、社会情勢に応じた公共施設（ハコモノ）の適正な配置を進める</p> <p>(1) 将来の需要予測に基づく公共施設（ハコモノ）の適正な配置を進める。</p> <p>(2) 都市計画、防災面と連動した適正な配置を進める。</p> <p>《全体方針4》インフラ施設は、安全性やライフサイクルコスト等を考慮して、適切な維持管理を進める</p> <p>(1) 市民等の安全・安心の確保を第一とした、維持管理・修繕・更新を進める。</p> <p>(2) 財政規模に見合ったインフラ施設の整備を進める。</p> <p>《全体方針5》公共施設等の適正化に向けた推進体制の構築を図る</p> <p>(1) 公共施設等の適正化を図るための全庁的な体制を構築する。</p> <p>(2) 市民との情報共有・市民参画・市民協働に取り組む。</p> <p>また、公共施設（ハコモノ）の将来更新投資額の試算の結果をもとに、目標縮減率を以下のように設定しています。</p> <p>適正な配置の検討にあたっての目標縮減率</p> <p>40年間で公共施設（ハコモノ）延床面積を30%削減</p>
--	--

<p>公共施設等 総合管理計 画の施設類 型別方針</p>	<p>総合管理計画では、「公共施設（ハコモノ）の施設用途の小分類別の方針」の中で「学校教育系施設（学校）」の方針を以下のように定めています。</p> <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center;">学校施設は、適切に維持管理を行っていき、今後の人口動向を考慮しながら、将来的には統合・縮小を行います。</p>
---	---



学校施設の長寿命化計画の基本方針

総合管理計画における基本方針や施設類型別方針に即し、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を以下に定めます。

<p>学校施設の 長寿命化計 画の基本方 針</p>	<div style="background-color: #f08080; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進</div> <p>児童・生徒が生活する場でもあることから、定期的な日常点検、必要に応じて劣化診断などを実施し、施設の状態や劣化状況の把握、危険・不具合箇所の早期発見に努めながら、劣化や危険性が認められた箇所については、緊急度に応じてすみやかに修繕又は安全対策を実施します。</p> <p>施設の更新については、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。</p> <p>また、適切な維持管理による財政負担の平準化及び計画的に予防保全的な部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの削減を図ります。</p> <div style="background-color: #9966cc; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2. 市民ニーズに対応した施設の有効活用</div> <p>現在の学校施設の活用を増進し、学校の多目的利用により市民に身近で便利な地域のコミュニティ、スポーツ拠点化を推進します。また、「日田市地域防災計画」に基づき災害時の避難拠点とした整備を推進します。</p> <p>さらに、障害者も含めた全ての利用者の利便性と安全性をさらに向上するため、バリアフリー化についても推進します。</p> <div style="background-color: #66b3ff; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">3. まちづくりと連動したマネジメントの推進</div> <p>学校施設の整備に際しては、PPP手法の導入も含め、民間の活用を検討するなど、財政負担の軽減と地域コミュニティの活性化を推進します。また、施設を維持・保全していくため、必要に応じて県及び民間事業者との連携・協働について検討します。</p> <div style="background-color: #ff9933; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">4. 施設保有量の最適化</div> <p>今後、児童・生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>その際、地域の公民館などの社会教育施設やスポーツ施設等との役割分担・連携を含め学校施設の機能の再編についても検討します。</p>
--	--

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

平成 21 年度に「日田市立小中学校教育環境整備検討委員会」から出された答申に基づき、平成 26 年度までに学校規模の適正化等に取り組んできましたが、それ以降も少子化の進行により、児童生徒数が少ない過少規模校が複数生じています。今後は、教育効果等を踏まえた、適正規模、適正配置の検討状況を十分に考慮し、効率的かつ効果的な施設整備を推進します。

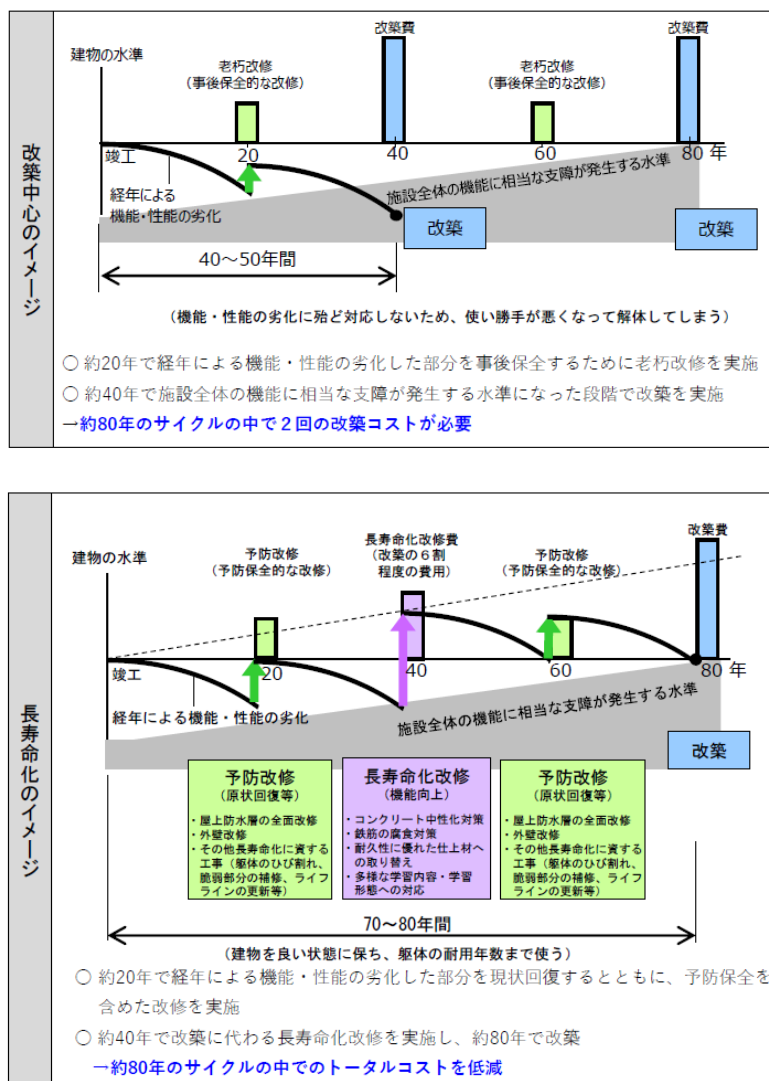
②改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

本市の今後の厳しい財政状況の下では、改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない施設が大幅に増加する恐れがあります。

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図ります。

なお、安全面・構造面から改築が必要となる建物については、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。



図：改築中心から長寿命化への転換イメージ

資料：文部科学省：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（一部加工）

2) 目標使用年数、改修周期の設定

○予防保全の方針

建物は、屋根や外壁などの劣化や破損への対応を対処療法的に行うと、建物の骨格部である躯体や電気・機械設備の損傷につながり、建物全体の寿命を縮める要因となってしまいます。

これまで、本市ではこうした「事後保全」を行ってききましたが、建物をできる限り長く使うため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけではなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を実施します。

また、「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させ、施設の不具合による被害のリスクの緩和や、改修、日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げることに努めます。

○目標使用年数の設定

建物の寿命は立地条件や施工性、使用状況の違いによっても大きく左右されます。

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっていますが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであり、一般的に鉄筋コンクリート造の建物では、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならないうちに適切な時期(概ね築後45年程度まで)にその劣化の原因を調査し劣化の程度と原因に応じた適切な補修・改修を行うことで耐用年数を伸ばすことができます。

鉄筋コンクリート造の校舎の場合、目標耐用年数として、普通品質では50～80年、高品質の場合は80～120年とされています。

(「建築物の耐久計画に関する考え方」 社団法人日本建築学会、昭和63年)

表：望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート	
	高品質の場合	普通品質の場合
学校	Y. 100以上	Y. 60以上

表：目標耐用年数の級の区分例

級	代表値	範囲
Y. 100	100年	80～120
Y. 60	60年	50～80

鉄骨造の屋内運動場の場合耐用年数については、以下のとおりです。

用途	鉄骨造	
	重量鉄骨	
	高品質の場合	普通の品質の場合
学校庁舎	Y. 100以上	Y. 60以上

目標耐用年数 級(Y.)	代表値	範囲	下限値
Y. 150	150年	120～200年	120年
Y. 100	100年	80～120年	80年
Y. 60	60年	50～80年	50年

以上のことから適切な維持管理がなされることを前提に、前述の構造躯体の健全性の評価結果等に基づき、本市の学校施設の目標使用年数を次頁のように設定します。

表：目標使用年数の設定

建物の種別	目標使用年数
長寿命化建物	80年
一般建物	60年

学校や屋内運動場の法定耐用年数

- ・鉄筋コンクリート：47年
- ・鉄骨造：19～34年
- ・木造：22年

法定耐用年数は、省令制定当時には、建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）ごとに耐用年数を総合的に勘案し、算定されたと言われていています。よって構造躯体の劣化により使用できなくなる寿命を表しているわけではありません。

建物には、法定耐用年数以外に、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数があります。

鉄筋コンクリート造の建物については、大規模な補修が不要となる期間とそれに応じたコンクリートの設計基準強度を4段階に分けて定めており、期間は30年、65年、100年、200年、それに応じた耐久設計基準強度はそれぞれ18、24、30、36N/mm²です。（「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」日本建築学会、2009年改訂）

本市の対象学校建築物ではコンクリート設計基準強度は、18N/mm²、21N/mm²であることから、概ね築後45年までが長寿命化改修を行う時期の目安と考えます。

○改修周期の設定

建物を設定した目標使用年数まで使用し、学校施設の機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準まで引き上げる機会を定期的に得るため、必要な改修の周期を以下のように設定します。

表：改修周期の設定

用途	目標使用年数	予防改修の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80年	築20年・築60年	築40年
体育館	80年	築20年・築60年	築40年

※この改修周期は、建て替え等による新築及び築後20年未満の既存建物に適用します。

築後20年以上経過している既存建物は、経過年数や建物の劣化状況などから、個別に改修周期を検討する必要があります。

築20年経過時点において、原状回復及び予防保全的な改修を行い、目標使用年数の中間期に長寿命化改修を実施、その後、改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うなど、定期的に必要な改修を行い、建物を長寿命化します。

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

①改修等の整備水準

「第3章 ②学校施設の老朽化状況の実態」において把握した現在の劣化状況や「第4章 学校施設整備の基本的な方針等」を踏まえ、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

建物の外部・内部仕上げ、設備等の経年による劣化や機能の低下を改修により改善を図ります。

改修の内容は各建物により築年数や老朽化の部位と程度が異なることから、劣化状況調査の結果を踏まえ、今後の改修整備においてどのレベルまでの整備水準を確保するのかを部位別に検討し、本市の学校施設整備水準の統一性を図るものとします。また、コストとの関連付けを図ることにより最適な仕様を設定します。

以下に、長寿命化改修において“①耐久性を高めるもの”（建物内部・設備）、“②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの”（内部・設備）、“③多様な学習内容・学習形態への対応”（学習環境の多様化・安全安心な施設整備）、に区分した整備水準表を示します。

表：適用を検討する整備水準（1）

部位		建設当初の標準仕様 (低)	改修工事の整備水準 (長寿命化改修)	省エネ型の改修	修繕レベル
		《整備レベル》			(高)
①耐久性を高めるもの					
外部仕上げ	屋根・屋上	アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	外断熱シート防水(t-25) 外断熱保護防水(t-20)	クラック補修 浮き部補修
		シート防水	シート防水貼替		
		スチール鋼板屋根	塗膜防水		
		瓦葺屋根	割れた瓦の葺替え		
	鉄筋コンクリート躯体	※構造体の劣化状況調査	躯体の状況に応じた適切な補修		ひび割れ補修工法、中性化抑止工法、断面修復工法、鉄筋腐食補修
	鉄骨構造体			錆び補修	
外壁	RC部	モルタル下地外装薄塗材E(リシン吹付)	耐久性を高める塗装材 (防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材
	鉄骨部	外壁ボード塗装(複層薄塗材)	セメントボード葺替え		
	外部 開口部	アルミサッシ スチールサッシ・スチール扉	危険箇所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換(複層ガラス等) ガラス飛散安全対策 塗装	サッシ交換(カバー・はつり工法)(複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装

※表に示す仕様は水準であり、実際に適用する際は、個別の状況に応じて改修内容を検討します。

表：適用を検討する整備水準（2）

部位		建設当初の標準仕様 (低)	改修工事の整備水準 (長寿命化改修)	省エネ型の改修 (高)	修繕レベル	
<<整備レベル>>						
②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの						
内部 仕 上 げ	各室	内装材	一般材料(EP塗装)	空気汚染物質を発生させない材料に更新	内装の全面撤去・更新(木質化)	
		換気設備	自然換気	機械換気		
	教室 (廊下)	間仕切壁	スチール枠・アルミ枠・木製扉	木製建具等		
		床	Pタイル、シート床、フローリングブロック	床補修、教室内の段差解消、適切なスロープ設置	床の全面撤去・更新(木質化)	
		出入建具	木製扉	フローリング塗装、木製建具		
	階段室	防火戸	防火戸(建設時の基準法)	防火戸の改修		
	トイレ	床	ウェット式(タイル仕上)	ドライ式(抗菌シート)、段差解消		ウェット(部分タイル張り替え)
		衛生器具	和式便器、一般型小便器、水栓	洋式便器、節水型小便器、自動水栓	節水型小便器、自動水栓(節水型器具の導入)	衛生器具交換
		照明設備	手動照明	自動照明	自動照明	
	設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感センサー、照度センサー付)太陽光発電、太陽熱給湯 蛍光灯(照明器具交換)
給排水設備		給水	直結増圧給水方式 ライニング鋼管	硬質塩化ビニール管による配管の更新	雨水・中水利用、排水再利用	
空調設備		冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設置(教室・管理教室)		ヒートポンプ式マルチエアコン	
③多様な学習内容・学習形態への対応						
学習環境の多様化		対応なし	ICT [*] 環境の設備			
内部	バリアフリー	スロープ等に手摺り設置、案内板・カウンター設置、誘導ブロック設置、車椅子対応駐車場		多目的トイレの設置、乗用エレベーター設置		
	アスベスト	アスベスト封じ込め	アスベスト撤去			
	防災	非常用自家発電設備、災害時飲料用受水槽(20t)FRP製				
	防犯	玄関のモニター付インターホン、管理室～教室用インターホン、防犯カメラ				

*ICT:「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

※表に示す仕様は水準であり、実際に適用する際は、個別の状況に応じて改修内容を検討します。

②維持管理の項目・手法等

各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、躯体以外の劣化状況の点検・評価の項目を「非構造部材の耐震点検チェック表」に沿って、①建物(敷地)、②建物(外部)、③建物(内部)、④電気設備、⑤機械設備、⑥防災設備の点検結果を記録します。

この点検については、今後1年周期で点検を行うものとします。

点検調査： 1年ごとに実施

また、建築基準法第12条に基づく有資格者による専門的な点検を3年ごとの実施に努めます。

第6章 長寿命化の実施計画

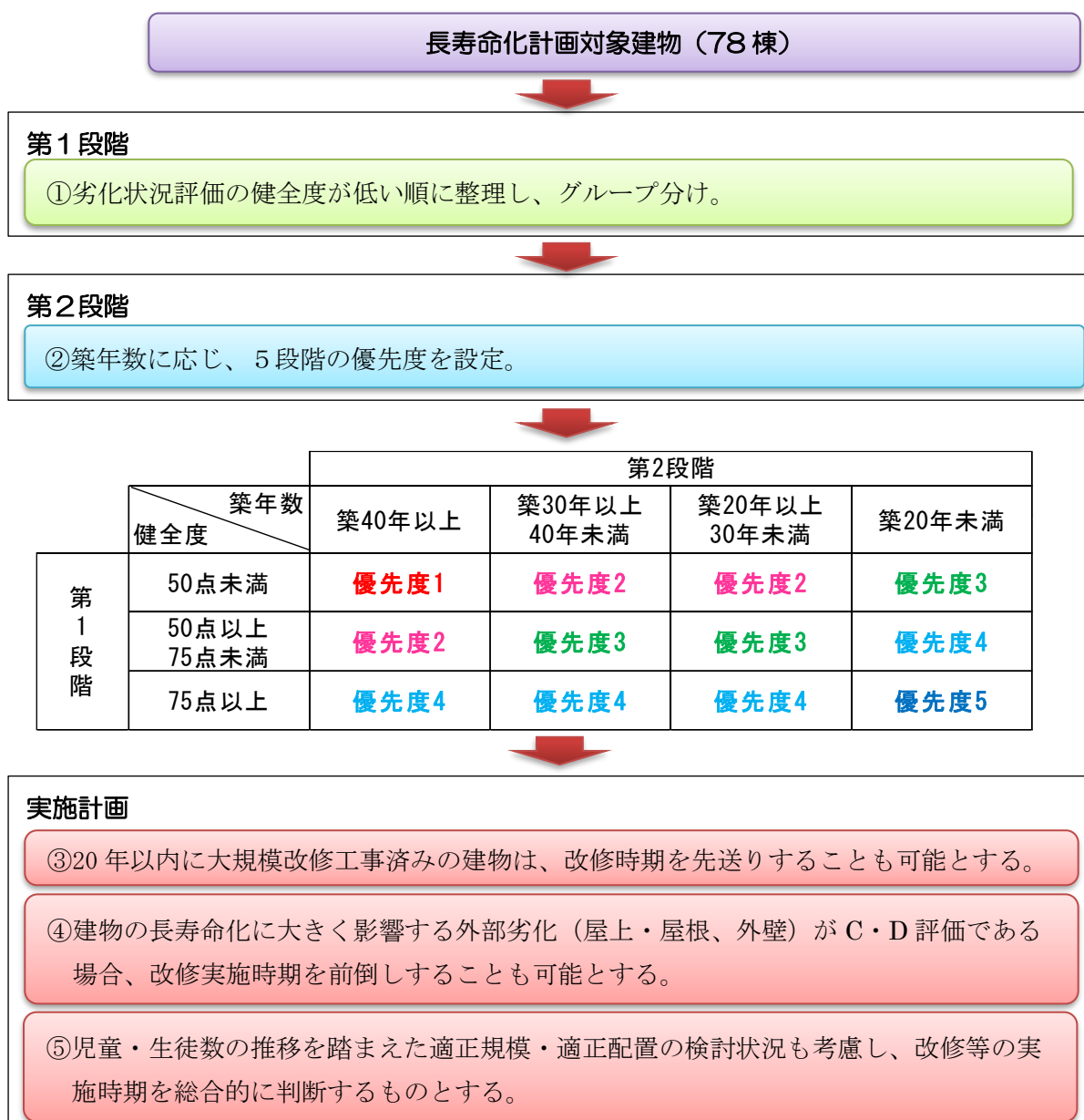
①改修等の優先順位付けと実施計画

1) 長寿命化改修等の優先順位

優先順位の設定にあたっては、第1段階では劣化状況評価の健全度を基に3グループ（50点未満、50点以上75点未満、75点以上）に分け、健全度が低い順に長寿命化改修を行うことを基本とします。

第2段階では、築年数の古い順に4グループ（築40年以上、築30年以上40年未満、築20年以上30年未満、築20年未満）に区分し、劣化状況評価の健全度と築年数により改修等の優先度を設定します。

実施計画の策定にあたっては、上記の優先順位設定を基本に、過去の大規模改修履歴や耐震改修履歴、建物の長寿命化に大きく影響する「屋上・屋根」「外壁」の劣化状況評価（特にC・D評価）及び児童・生徒数の推移を踏まえた適正規模・適正配置の検討状況を確認しながら進めます。



図：優先度の設定フロー

表：築年と劣化状況からみた優先順位の設定

		第2段階					
		経過年数					
		優先度					
		(高)			(低)		
		築40年以上	築30年以上40年未満	築20年以上30年未満	築20年未満		
第1段階	健全度	高	50点未満	光岡小学校 (管理教室棟) 三和小学校 (管理教室棟) 三和小学校 (普通教室棟) 石井小学校 (教室棟) 南部中学校 (管理教室棟) 優先度 1 (5棟)	優先度 2 (0棟)	優先度 2 (0棟)	優先度 3 (0棟)
	50点以上75点未満	若宮小学校 (管理教室棟) 若宮小学校 (教室棟) 若宮小学校 (屋内運動場) 朝日小学校 (管理教室棟) 三和小学校 (屋内運動場) 前津江中学校 (屋内運動場) 優先度 2 (6棟)	小野小学校 (屋内運動場) 前津江小学校 (管理教室棟) 東部中学校 (屋内運動場) 東部中学校 (家庭科室) 南部中学校 (武道場) 優先度 3 (5棟)	前津江小学校 (屋内運動場) 戸山中学校 (屋内運動場) 優先度 3 (2棟)	優先度 4 (0棟)		
	75点以上	桂林小学校 (管理教室棟) 桂林小学校 (普通教室棟) 桂林小学校 (屋内運動場) 三芳小学校 (管理教室棟) 高瀬小学校 (管理教室棟) 高瀬小学校 (特別教室棟) 光岡小学校 (屋内運動場) 朝日小学校 (特別教室棟) 朝日小学校 (屋内運動場) 有田小学校 (管理教室棟) 有田小学校 (普通教室棟) 石井小学校 (管理教室棟) 石井小学校 (屋内運動場) 津江小中学校 (管理教室棟) 津江小中学校 (屋内運動場) 津江小中学校 (武道場) 東部中学校 (管理教室棟) 東部中学校 (特別教室棟) 北部中学校 (管理教室棟) 東溪中学校 (屋内運動場) 五馬中学校 (屋内運動場) 優先度 4 (21棟)	日隈小学校 (管理教室棟) 日隈小学校 (屋内運動場) 三芳小学校 (教室棟) 高瀬小学校 (普通教室棟) 有田小学校 (特別教室棟) 小野小学校 (管理教室棟) 東溪小学校 (管理教室棟) 東溪小学校 (屋内運動場) いつま小学校 (管理教室棟) いつま小学校 (屋内運動場) 東部中学校 (武道場) 三限中学校 (武道場) 戸山中学校 (管理教室棟) 戸山中学校 (特別教室棟) 優先度 4 (14棟)	光岡小学校 (普通教室棟) 大明小中学校 (武道場) 南部中学校 (屋内運動場) 北部中学校 (教室棟) 北部中学校 (屋内運動場) 東有田中学校 (管理教室棟) 前津江中学校 (管理教室棟) 前津江中学校 (特別教室棟) 優先度 4 (8棟)	咸宜小学校 (管理教室棟) 咸宜小学校 (普通教室棟) 咸宜小学校 (屋内運動場) 三芳小学校 (屋内運動場) 高瀬小学校 (屋内運動場) 有田小学校 (屋内運動場) 大明小中学校 (小学校棟・中学校棟・特別教室棟) 大明小中学校 (屋内運動場) 津江小中学校 (教室棟) 大山小中学校 (管理教室棟) 大山小中学校 (屋内運動場) 三限中学校 (管理教室棟) 三限中学校 (屋内運動場) 南部中学校 (普通教室棟) 東有田中学校 (屋内運動場) 東溪中学校 (管理教室棟) 五馬中学校 (管理教室棟) 優先度 5 (17棟)		
建物数	(32棟)	(19棟)	(10棟)	(17棟)	(78棟)		

2) 今後5年間の予算配分

今後5年間の予算配分を検討する際、既存建物数と長寿命化計画に基づく改修サイクルで計画した場合、単年度の事業量は、予防改修1棟、長寿命化改修2棟程度となりますが、近年の建設単価や労務単価の急激な高騰など、本市の財政状況から考慮すると実施できる棟数には限りがあります。

これを踏まえ、今後5年間の実施計画における大規模改修工事の予算配分は、以下の点を考慮して年次計画を検討します。

- 2030年度までは、既に計画が決定している石井小学校（教室棟）、三和小学校（管理・普通教室棟）、南部中学校（管理教室棟）を基本とします。
- 年次計画順の決定については、健全度を優先し、次に築年数から判断するものとし、健全度が同じ場合は築年数により判断することとします。また、児童・生徒数の推移を踏まえた適正規模・適正配置の検討状況についても考慮するものとします。
- 設計は学校ごとに行うことや仮設費用などをはじめとしたコストを抑えるため、学校単位での年次計画にも配慮した計画とします。

なお、「長寿命化改修」「予防改修」の単価は、以下のように設定します。

(単位：円/㎡)

長寿命化改修	校舎	240,000
	屋内運動場	200,000
	武道場	120,000

(単位：円/㎡)

予防改修	校舎	60,000
	屋内運動場	60,000
	武道場	60,000

②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

1) 長寿命化の効果

本市の学校施設（校舎・屋内運動場等）について、従来の建替え（改築）を前提とした維持・管理から長寿命化を前提とした維持・管理への切り替え、事後保全から予防保全への切り替えを行うことにより、修繕スパンの改善や修繕箇所の縮小など、改修以降の維持修繕費の低減につながります。

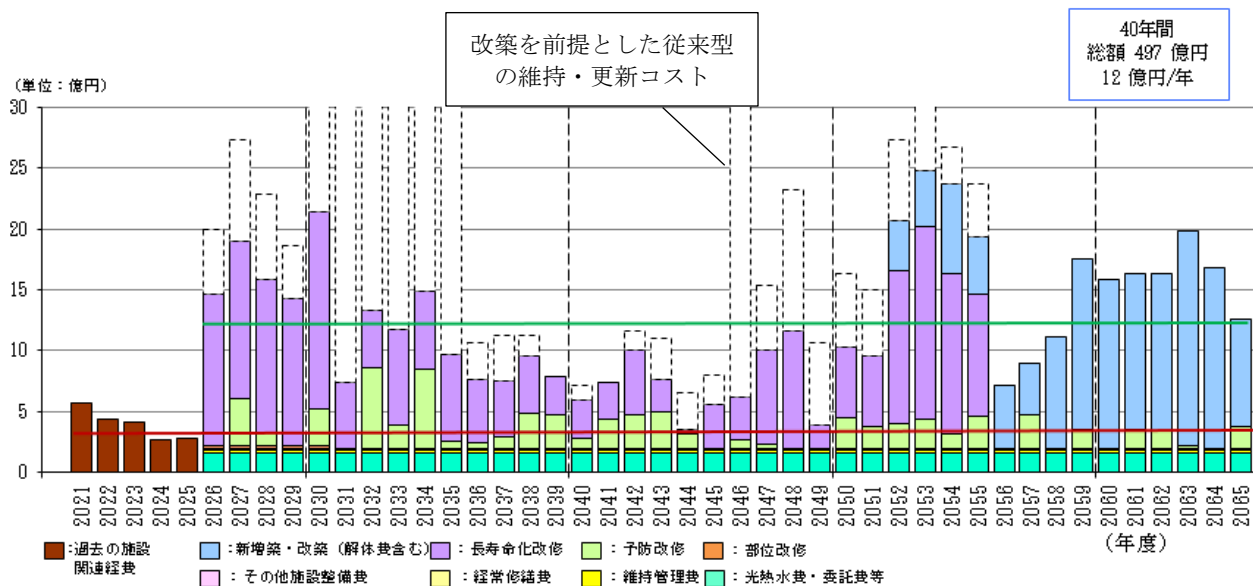
また、必要に応じ、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の低減にもつながり、トータルとしての維持・管理コストの低減が期待できます。

2) 長寿命化計画によるコストの見通し

計画した今後5年間の実施計画（第2期）以降においても長寿命化改修、予防保全型の修繕を実施し、更なる維持・管理コストの低減に努めます。

ただし、今後5年間の実施計画を踏まえた今後40年間の維持更新コストにおいても、2052年以降、改築や長寿命化改修の費用がかさみ、年間工事費が大きくなる年が出てきます。

今後の定期的な点検や5年ごとの見直しにおいて、劣化や構造躯体の状況を見極めつつ、適正な実施計画を検討して改修を進めていきます。



図：今後5年間の実施計画を踏まえた今後40年間の維持・更新コスト

3) 維持・更新の課題と今後の方針

建物の健全度や重要度に基づく今後5年間の実施計画を進めた場合、経過による積み残しがその後のコスト増大につながることも考慮する必要があります。

また、今後40年間の維持・更新コストの見通しにおいても、過去5年間の経費実績から比べると大きく、長寿命化や予防保全への切り替えだけでは限界があると考えられます。

そのため、今後、本計画をフォローアップしていく中で、東部中学校（技術室）のように利用頻度が低く校舎などと別棟となっている建物の廃止や大規模改修時における減築などのほか、学校の適正規模、適正配置の検討を踏まえ、保有量（床面積）の縮小に努めます。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

①情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携するとともに、公有財産台帳に基づく施設情報を継続的に更新し、施設の実態把握を可能とする効率的な仕組みを検討します。

特に、継続的な点検による実態把握結果をデータベースとして蓄積するとともに、情報を一元化し、適正かつ効果的に建物の評価、計画の見直しに活用します。

また、学校施設の管理運営・更新については、児童・生徒が安心・快適に学校生活を送るとともに、市民にとってより利便性が高く、利用しやすい施設としていくため、今後も協働の取り組みを推進していきます。

②推進体制等の整備

学校施設の長寿命化計画を継続的に運用していくために、教育庁が中心となり、市の関係部署間で横断的な連携を図りながら計画を推進します。

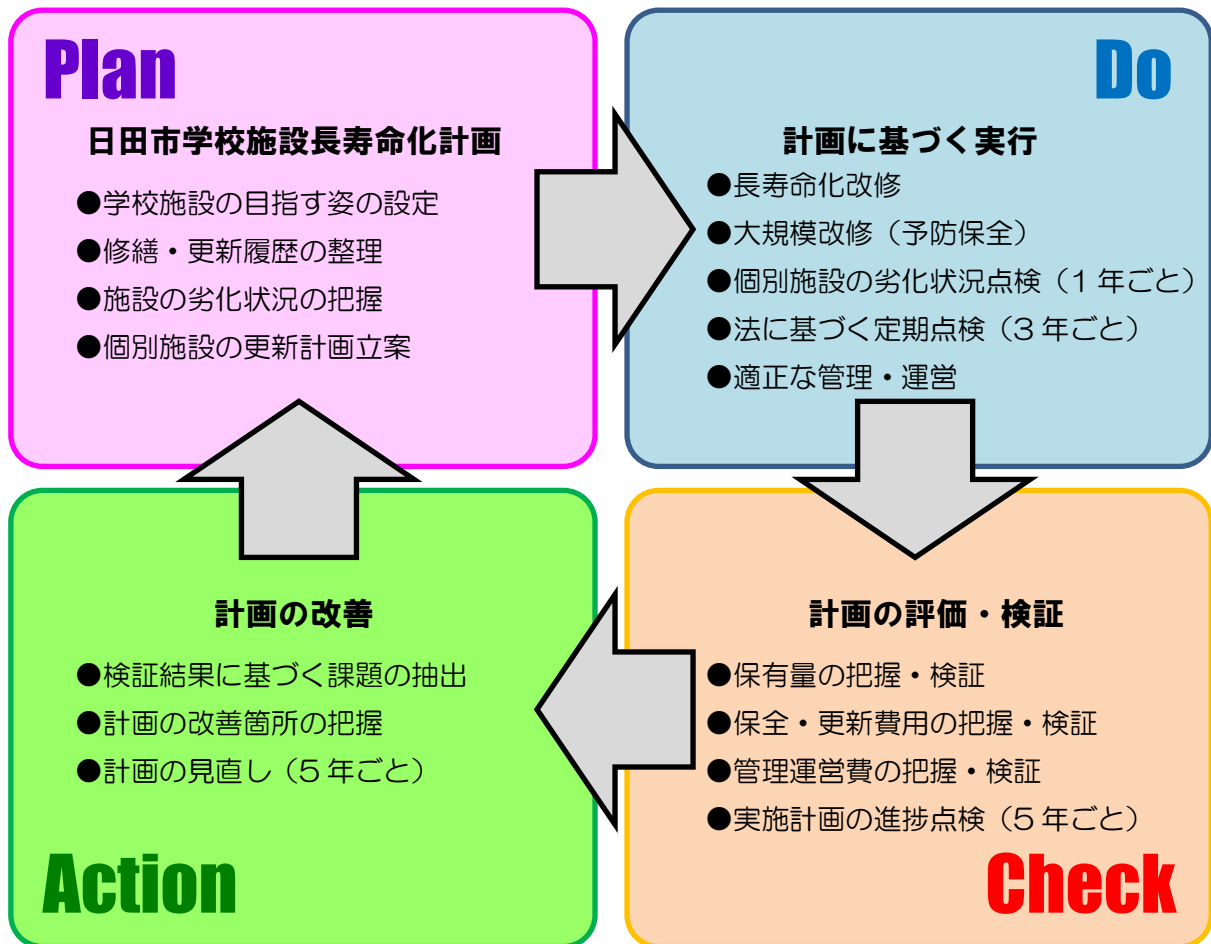
また、本計画を効率的に実施していくためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用については、市全体の予算を踏まえながら確保に努めます。

さらに、市民と市が、学校施設に関する情報を共有することが重要であることから、情報共有の在り方について検討します。

③フォローアップ

本計画は、総合管理計画と連携し、計画期間内であっても学校施設の定期的な点検及び実態の把握、計画の進捗状況を点検しつつ、必要に応じ不断の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図ります。

5年ごとに計画を見直し、実施計画を更新するため、建物の劣化、老朽化に関する点検を1年ごとに実施するとともに、法に基づく定期点検（3年ごと）の結果を有効に活用します。



図：PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップ

第二次日田市学校施設長寿命化計画

日田市教育庁 教育総務課
〒877-8601 大分県日田市田島2丁目6-1
TEL : 0973-22-8234 FAX : 0973-22-8248